

九州産業大学学則

第1章 総則

(建学の理想と理念)

第1条 九州産業大学(以下「本学」という。)は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従って大学教育を施し、学術の理論及び応用を研究、教授すべく、建学の理想を「産学一如」と定めている。「産学一如」とは、産業と大学は車の両輪のように一体となって、時々の社会のニーズを満たすべきであるとの創設者の意である。
この建学の理想のもとに、建学の理念として「市民的自覚と中道精神の振興」及び「実践的な学風の確立」を掲げている。

(人材養成及び教育研究上の目的)

第1条の2 本学は、建学の理想と理念のもと、広く産業界の期待に応えられる“実践力”“熱意”“豊かな人間性”を持った心身共に健全な国際的教養人を育成することを目的とする。

2 各学部、各学科の人材養成及び教育研究上の目的は、別に定める。

(3つのポリシー)

第1条の3 本学の3つのポリシー(学位の授与方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者の受け入れ方針)は、次のとおりとする。

(学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー)

本学は、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 幅広い教養と専門的知識を備え、適切に活用できる。
2. 論理的に思考し、判断することができる。
3. 技術・技能を修得し、創造力・実践力を発揮できる。
4. グローバルな視点で多様な人々とコミュニケーションを行い、熱意を持って持続可能な社会の発展に貢献できる。
5. 広い視野を持って、主体的に他者と協力できる。
6. 情報技術を活用することができる。

(教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー)

本学は、KSU基盤教育を基礎として、各学部・各学科の専門科目の正課教育、並びに総合大学として特色あるKSUプロジェクト型教育を行う。また、サークル活動やボランティア活動といった正課外教育も行う。

1. KSU基盤教育において、幅広い教養及び総合的な判断力を培うとともに豊かな人間性をもった人材を育成する。
2. 専門教育において、特定分野を学び、知識や情報の活用を通して社会で実践できる人材を育成する。
3. KSUプロジェクト型教育及びその他の正課外活動において、様々な経験をすることにより、他者をいたわることや地域の課題解決など地域に貢献する人材を育成する。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

本学は、次の能力・意欲をもった人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、学習意欲が高い人。
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人。
3. 特定分野において卓越した能力をもっている人

2 各学部、各学科の3つのポリシー(学位の授与方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者の受け入れ方針)は、別に定める。

(自己点検及び評価)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備(以下「教育研究等」という。)の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 前項の点検及び評価を行うに当たっては、同項の趣旨に即し適切な項目を設定するとともに、適当な体制を整えて行うものとする。
- 3 本学は、第1項の措置に加え、教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。
- 4 点検及び評価に関し必要な事項は、別に定める。

(情報の公表)

第2条の2 本学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

- (1) 本学の教育研究上の目的に関する事。
- (2) 教育研究上の基本組織に関する事。
- (3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事。
- (4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事。
- (5) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関する事。
- (6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事。
- (7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関する事。
- (8) 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用に関する事。
- (9) 本学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関する事。

- 2 本学は、前項各号に掲げる事項のほか、教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するものとする。
- 3 第一項の規定による情報の公表は、刊行物への掲載、インターネットの利用により広く周知を図るものとする。

第2条の3 削除

第2章 修業年限、在学年限、学年、学期及び休業日

(修業年限)

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第3条の2 本学は、前条の規定にかかわらず、学生が、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業すること（以下「長期履修」という。）を希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

- 2 長期履修に関し必要な事項は、別に定める。

(在学年限)

第4条 学生は、8年を超えて在学することはできない。

- 2 前項の規定にかかわらず、編入学又は再入学を許可された学生は、修業すべき年数の2倍を超えて在学することはできない。

(学年及び1年間の授業期間)

第5条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 2 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

(学期・クォーター)

第6条 学年を分けて次の2学期とする。

前学期 4月1日 から 9月15日まで

後学期 9月16日 から 翌年3月31日まで

- 2 学長は、前項に定める学期の開始日と終了日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に規定する各学期を2つの期間（以下「クォーター」という。）に分けることができる。
- 4 各クォーターの始期及び終期については、別に定める。

(休業日)

第7条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - (3) 開学記念日
 - (4) 春季休業 4月1日 から 4月6日まで
 - (5) 夏季休業 7月28日 から 9月15日まで
 - (6) 冬季休業 12月24日 から 翌年1月7日まで
- 2 学長は、必要がある場合には休業日を臨時に変更ことができ、また、臨時の休業日を定めることができる。

第3章 学部及び学科

(学部及び学科)

第8条 本学に、次の学部及び学科を置く。

経済学部	経済学科
商学部	経営・流通学科
地域共創学部	観光学科
	地域づくり学科
理工学部	情報科学科
	機械電気創造工学科
	スマートコミュニケーション工学科
生命科学部	生命科学科
建築都市工学部	建築学科
	住居・インテリア学科
	都市デザイン工学科
芸術学部	芸術表現学科
	写真・映像メディア学科
	ビジュアルデザイン学科
	生活環境デザイン学科
	ソーシャルデザイン学科
国際文化学部	国際文化学科
	日本文化学科
人間科学部	臨床心理学科
	子ども教育学科

スポーツ健康科学科

(大学院)

第9条 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関し必要な事項は、別に定める。

第4章 図書館及び附属施設

(図書館)

第10条 本学に附属図書館を設ける。図書館は、図書、学術雑誌、電磁的方法により提供される学術情報その他の教育研究上必要な資料を収集整理し、職員及び学生の研究閲覧に供する。

2 図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属施設)

第11条 本学に、次の附属施設を置く。

産業経営研究所
 総合情報基盤センター
 健康・スポーツ科学センター
 グローバル教育センター
 語学教育研究センター
 基礎教育センター
 美術館
 総合機器センター

2 附属施設に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 学部学科別入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第12条 本学の学部学科別入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
経済学部	経済学科	400	1,600
商学部	経営・流通学科	470	1,880
地域共創学部	観光学科	150	600
	地域づくり学科	150	600
理工学部	情報科学科	140	560
	機械電気創造工学科	135	540
	スマートコミュニケーション工学科	50	200
生命科学部	生命科学科	110	440
建築都市工学部	建築学科	75	300
	住居・インテリア学科	65	260
	都市デザイン工学科	60	240
芸術学部	芸術表現学科	70	280
	写真・映像メディア学科	55	220
	ビジュアルデザイン学科	75	300
	生活環境デザイン学科	55	220
	ソーシャルデザイン学科	45	180
国際文化学部	国際文化学科	80	320
	日本文化学科	60	240
人間科学部	臨床心理学科	85	340
	子ども教育学科	80	320
	スポーツ健康科学科	120	480

第6章 授業科目及び単位

(授業科目)

第13条 授業科目は、専門科目、基礎教育科目、外国語科目、留学生に関する科目、日本語重点教育プログラム科目、教職に関する科目、司書に関する科目、司書教諭に関する科目、博物館に関する科目、社会教育主事に関する科目及び大学院設置科目に分ける。

2 前項に規定する専門科目のうち各学部が指定する専門科目、基礎教育科目及び外国語科目をK S U基盤教育に関する授業科目とする。

3 K S U基盤教育に関し、必要な事項は別に定める。

4 K S U基盤教育に関する授業科目のうち、基礎教育科目、外国語科目の種類及び単位数は、別表第1のとおりとする。

5 授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に分ける。

6 各学部における専門科目、留学生に関する科目及び教職に関する科目の種類及び単位数は、別表第2から別表第9のと

おりとする。

- 7 必要に応じて特殊講義を設けることができる。
- 8 自由科目として学生の習熟度を高めるための授業科目を設けることができる。
- 9 本学の特色ある教育を具現化するために、独自のプログラムを置く。
- 10 前項のプログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(授業の方法)

第13条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 前項により与えることができる単位数は、第15条の卒業するために必要な単位数のうち、60単位を超えないものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第13条の3 本学は、授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

- 2 本学は、指導補助者（大学設置基準第8条第3項に規定する指導補助者をいう。）に対し、必要な研修を実施するものとする。ただし、教員は除く。

第7章 寄附講座

(寄附講座)

第14条 本学は、企業、財団及び個人等からの寄附によって運営する講座（以下「寄附講座」という。）の授業科目を開設することができる。

- 2 寄附講座に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 授業科目履修の方法

(卒業要件)

第15条 本学の各学部を卒業するために必要な授業科目及び単位数は、別表第10のとおりとする。

(授業科目履修の方法及び登録の上限)

第16条 授業科目の履修及び単位の修得方法については、別に定める。

- 2 外国人留学生のために設ける留学生に関する科目の履修については、別に定める。
- 3 学生は、原則として各学期の初めに履修希望の授業科目を登録しなければならない。
- 4 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として修得すべき単位数について、一年間又は一学期に履修科目として登録できる単位数の上限は各学部において定めることができる。なお、単位数の上限は、別に定める。
- 5 各学部が定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
- 6 既に単位を修得した授業科目は、再履修をすることができない。

(単位の基準)

第17条 1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲の時間の授業をもって1単位として、各授業科目の単位数を計算するものとする。

- 2 芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- 3 卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらに必要な学修を考慮して単位数を定めるものとする。

第9章 授業科目修了の認定

(単位の認定)

第18条 授業科目修了の認定は、筆記又は口述による試験その他適切な方法による。ただし、演習、実験、実習及び実技等については平常の成績により認定することができる。

- 2 授業科目修了の認定は、原則として学年末に行う。ただし、前学期で終了する授業科目については、前学期末に行うことができる。
- 3 試験の成績は、秀、優、良、可及び不可で表し、秀、優、良及び可を合格とし、合格した授業科目には所定の単位を与える。

(GPA)

第18条の2 学業の成績評価基準としてグレード・ポイント・アベレージ (Grade Point Average 以下「GPA」という。)を用いることができる。

- 2 GPAについては、各学部の授業科目履修規程に定めるところによる。

(他の大学、専門職大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第19条 学長が、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、教授会の意見を聴取した上で、本学における授業科目の履修により修得したものみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下、同じ）又は外国の短期大学に留学す

る場合、外国の大学又は外国の短期大学が行う通信教育における授業科目を国内において履修する場合及び外国の大学及び外国の短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を国内において履修する場合においても準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第20条 学長が、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の意見を聴取した上で、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(ボランティア活動等の実践学修)

第20条の2 学長が、教育上有益と認めるときは、ボランティア活動等の実践学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の意見を聴取した上で、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、第19条第1項、第2項及び前条第1項により本学において修得したとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 ボランティア活動等の実践学修に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位の授与)

第21条 本学に4年以上在学し、第15条に規定する授業科目につき定められた単位を修得した者に対して、卒業を認め、学長が学士の学位を授与する。

2 本学に4年以上在学し、年度の前学期において第15条に規定する授業科目につき定められた単位数を修得した者に対して、9月卒業を認め、学長が学士の学位を授与する。

(1) 学位の認定日は、当該年度の前学期末日とする。

(2) 学長は、翌年3月まで卒業の延期を願い出た者について、教授会の意見を聴取した上で、許可することができる。

3 文部科学大臣の定めるところにより、本学に3年以上在学し、第15条に規定する授業科目につき定められた単位数を優秀な成績で修得した者に対して、第1項の規定にかかわらず、別に定める規程に基づき3年以上の在学中で卒業を認め、学長が学士の学位を授与することができる。

4 学位の授与については、別に定める。

第11章 教育職員免許状等

(教育職員免許状)

第22条 本学に4年以上在学し、卒業するのに必要な単位を修得して学士の学位を得、かつ、第13条別表第1から別表第9に掲げる授業科目のうちから教育職員免許法及び同法施行規則に定める授業科目及び単位数を修得した者は、その修得した授業科目及び単位数に応じ、次の種類の教育職員免許状の授与を受けるための所要資格を得ることができる。

免許状の種類	免許教科の種類	免許状授与の所要資格を得させるための課程を置く学部学科	
高等学校教諭一種免許状	商業	商学部	経営・流通学科
高等学校教諭一種免許状	工業	理工学部 建築都市工学部	機械電気創造工学科 建築学科 住居・インテリア学科 都市デザイン工学科
中学校教諭一種免許状	社会	経済学部 地域共創学部	経済学科 観光学科 地域づくり学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	経済学部	経済学科
高等学校教諭一種免許状	公民	経済学部 地域共創学部	経済学科 地域づくり学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科	生命科学部	生命科学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学	理工学部	情報科学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	美術	芸術学部	芸術表現学科 写真・映像メディア学科 ビジュアルデザイン学科 生活環境デザイン学科 ソーシャルデザイン学科
高等学校教諭一種免許状	工芸	芸術学部	芸術表現学科(メディア芸術専攻を除く) ビジュアルデザイン学科 生活環境デザイン学科 ソーシャルデザイン学科(情報デザイン専攻を除く)
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語	国際文化学部	日本文化学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語	国際文化学部	国際文化学科

高等学校教諭一種免許状	情報	商学部 理工学部	経営・流通学科 情報科学科
中学校教諭一種免許状	技術	理工学部	機械電気創造工学科
幼稚園教諭一種免許状	—	人間科学部	子ども教育学科
特別支援学校教諭一種免許状	—	人間科学部	子ども教育学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育	人間科学部	スポーツ健康科学科

2 前項に定める資格を得るための授業科目の履修及び単位の修得方法については、別に定める。

(司書及び司書教諭)

第23条 図書館法第5条第1項第1号により司書の資格を得ようとする者及び学校図書館法第5条に規定する司書教諭の資格を得ようとする者については、別表第11の司書及び司書教諭に関する科目のうちから、所定の単位を修得すれば資格を得ることができる。

(学芸員)

第24条 博物館法第5条第1項第1号により学芸員の資格を得ようとする者については、別表第12の博物館に関する科目のうちから、所定の単位を修得すれば資格を得ることができる。

(社会教育主事)

第25条 社会教育法第9条の4第3号により社会教育主事の資格を得ようとする者については、別表第13の社会教育主事に関する科目のうちから、所定の単位を修得すれば資格を得ることができる。

(司書資格、司書教諭資格、学芸員資格及び社会教育主事資格の履修方法)

第26条 前3条に定める資格を得るための授業科目の履修及び単位の修得方法については、別に定める。

(日本語教員)

第26条の2 日本語教員の所要資格を得ようとする者については、別に定める日本語教員養成課程に関する授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

2 前項に定める授業科目の履修方法及び単位の修得方法については、別に定める。

(保育士)

第26条の3 児童福祉法施行規則により、保育士の資格を得ようとする者については、人間科学部子ども教育学科に在籍し、所定の単位を修得しなければならない。

2 前項に定める授業科目の履修方法及び単位の修得方法については、別に定める。

第12章 入学、編入学及び再入学

(入学の時期)

第27条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学の資格)

第28条 本学に入学の資格を有する者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

(出願手続)

第29条 本学に入学を志願する者は、入学願書及び所定の書類に別表第15に掲げる入学検定料を添えて提出しなければならない。

(入学者の選抜)

第30条 入学は、学力検査等によって決定する。

2 入学者の選抜方法は、別に定める。

(入学手続及び入学許可)

第31条 入学者の選抜に基づき合格通知を受けた者は、指定の期日までに保証人連署の誓約書、保証書及びその他の書類を提出するとともに、別表第15に掲げる入学金及び修学費を納付しなければならない。

2 合格通知を受けた者のうち、学力検査等で特に優秀な成績を修めた者については、前項の規定にかかわらず、修学費の一部を免除することがある。

- 3 学長は、前2項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
- 4 第1項の規定にかかわらず、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、授業料減免の対象となっている者については、修学費の納付を猶予し、入学を許可することがある。
- 5 前項の規定に基づき、修学費の納付を猶予された者は、別に定める期限までに、必要な修学費を納付しなければならない。

(入学前の既修得単位の認定)

- 第32条 学長が、教育上有益と認めるときは、編入学等を除き、第1年次に入学した学生が入学前に大学、専門職大学又は短期大学等において修得した授業科目の単位について、教授会の意見を聴取した上で、本学における授業科目の単位として認定することができる。
- 2 前項の規定は、第19条第2項の場合に準用する。
 - 3 第1項による単位の認定は、第19条第1項及び第2項、第20条第1項並びに第20条の2第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えない範囲で行うものとする。

(外国人留学生)

第33条 外国人で入学を志願する者については、特別の選考により入学を許可することがある。

(編入学)

- 第34条 学長は、本学に編入学を志願する者の選考について教授会の意見を聴取した上で、入学を許可することがある。
- 2 本学に編入学の資格を有する者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 大学の2年次以上の修了者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 外国において、学校教育における14年以上(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)の課程を修了した者で、本学において前3号に準ずると認められた者
 - (5) 学校教育法第132条に該当する者
 - (6) 学校教育法施行規則附則第7条に該当する者
 - 3 編入学者の選抜方法及び編入学年次等の必要な事項は、別に定める。
 - 4 編入学を許可された者の既に修得した単位の認定は、学長が教授会の意見を聴取した上で決定する。

(再入学)

- 第35条 学長は、本学の退学者又は除籍者が再入学を願ひ出たときは、第40条第1号により除籍された者を除き、教授会の意見を聴取した上で、再入学を許可することがある。
- 2 再入学を許可された者の既に修得した単位の認定及び再入学年次については、学長が教授会の意見を聴取した上で決定する。
 - 3 再入学を願ひ出る者は、別表第15に掲げる再入学選考料を納付しなければならない。

第13章 休学、復学、長期欠席、退学、除籍、転学部、転学科及び他大学受験

(休学)

- 第36条 休学しようとする者は、その事由を付した保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。
- 2 休学は、次のとおりとする。
 - (1) 前学期休学 前学期全期間の休学
 - (2) 後学期休学 後学期全期間の休学
 - (3) 通年休学 4月1日から翌年3月31日までの休学
 - 3 休学期間は、通算して3年を超えることができない。
 - 4 休学期間は、第4条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

- 第37条 休学を許可された者は、休学期間満了を以って復学するものとする。
- 2 復学の時期は、学年の前学期又は後学期の始めとする。なお、通年休学を許可された者において、前学期末までに休学の事由が消滅したときは、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を得て後学期始めの復学を認めることがある。

(長期欠席)

- 第38条 病気又はやむを得ない事由により、1ヵ月以上で休学期間に満たない欠席をしようとする者は、その事由を付した保証人連署の長期欠席届を教務部長に提出しなければならない。
- 2 1ヵ月に満たない欠席の場合は、当該授業科目担当教員に届け出なければならない。
 - 3 長期欠席の期間は、第4条に定める在学期間に算入する。

(退学)

第39条 退学しようとする者は、その事由を付した保証人連署の退学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

- 第40条 学長は、次の各号の一に該当する者を、教授会の意見を聴取した上で除籍する。
- (1) 第4条に定める在学年限を超える者
 - (2) 修学費又は在籍料を納付しない者
 - (3) 理由なく履修登録等在籍に要する手続きを履行しない者

(転学部及び転学科)

- 第41条 学長は、本学の他学部へ転学部することを志願する者の選考について関係各学部の教授会の意見を聴取した上で、許可することがある。
- 2 学長は、当該学部の他学科へ転学科することを志願する者の選考について教授会の意見を聴取した上で、許可することがある。
- 3 転学部及び転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第42条 削除

(他大学受験)

- 第43条 本学の学生が他大学の受験を出願するときは、他大学受験許可願を教務部長に提出しなければならない。
- 2 前項の手続を怠った場合は、出願先の大学に通告することがある。

第14章 留学

(交換留学)

- 第44条 本学は、本学と交流に係る協定を締結した外国の大学又は短期大学（以下「協定校」という。）と学生を相互に交換することがある。
- 2 前項の協定により交換する学生を交換留学生という。

(交換留学生の派遣)

- 第45条 学長は、前条の規定に基づき、教授会の意見を聴取した上で協定校に交換留学生を派遣することができる。
- 2 前項の交換留学生を派遣留学生といい、派遣期間は1年を限度とし、本学の修業年限に算入することができる。
- 3 派遣留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生の受入れ)

- 第46条 学長は、第44条の規定に基づき、教授会の意見を聴取した上で協定校が派遣する交換留学生を受け入れることができる。
- 2 前項の交換留学生を受入れ留学生といい、受入れ期間は1年を限度とする。
- 3 受入れ留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(認定留学)

- 第47条 本学は、本学が教育上有益と認める学位授与権を有する外国の大学（以下「認定校」という。）に、学生が留学することを認めることがある。
- 2 前項の規定により留学する学生を認定留学生という。

(認定留学生)

- 第48条 学長は、前条の規定に基づき、学生が留学を志願したときは、教授会の意見を聴取した上で、認定校に留学をさせることができる。
- 2 認定留学生の留学期間は、1年を限度とし、本学の修業年限に算入することができる。
- 3 認定留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第15章 専攻科

(目的)

- 第49条 本学に、精深な程度において特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として、次の専攻科を置く。

芸術専攻科 美術専攻
デザイン専攻
写真専攻

(専攻科の入学資格)

- 第50条 専攻科に入学の資格を有する者は、大学を卒業した者又は次の各号の一に該当する者とする。
- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (2) 文部科学大臣の指定した者
- (3) その他当該専攻科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(専攻科の定員)

- 第51条 専攻科の定員は、次のとおりとする。
- 芸術専攻科 美術専攻 4名
デザイン専攻 6名
写真専攻 4名

(専攻科の修業年限)

- 第52条 専攻科の修業年限は、1ヵ年とする。
- 2 専攻科の学生は、2年を超えて在学することができない。

(専攻科の選考方法)

第53条 専攻科で修業することを志望するものに対しては選考の上、入学を許可する。

(専攻科の授業科目)

第54条 専攻科における授業科目は、別表第14に定める。

(専攻科の授業科目の履修方法)

第55条 専攻科の学生は、前条によって定められた授業科目を別に定める履修規程に従って履修しなければならない。

2 前項により授業科目を履修し、単位を修得すれば修了証書を授与する。

(専攻科の納付金)

第56条 専攻科の納付金は、別に定める。

第16章 修学費、受講料等及び手数料

(修学費等)

第57条 本学の学生は、指定された期日までに別表第15に掲げる修学費を納付しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、必要に応じて別に定める受講料等及び手数料を納付するものとする。

(休学中の修学費及び在籍料)

第58条 休学を許可された者については、修学費を免除する。ただし、在籍料を納付しなければならない。

(修学費等の督促)

第59条 所定の期日までに修学費又は在籍料を納付しない者には督促し、納付しない場合は登学を停止する。登学停止後、なお納付しないときは、第40条の規定に基づき除籍する。

(納付金等の返付)

第60条 納付金等の返付の取り扱いについては、納付金及び手数料に関する規程(大学)の定めるところによる。

第17章 賞罰

(表彰)

第61条 学生として、表彰に価する行為があった者を、所定の手続きを経て、表彰する。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第62条 学長は、本学の諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者を、所定の手続きを経て、懲戒する。

2 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に著しく反した者

4 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第18章 職員組織

(学長、副学長及び部所長)

第63条 本学に学長、副学長、学部長、学生部長、教務部長、入試部長、キャリア支援センター所長、図書館長、産業経営研究所長、総合情報基盤センター所長、健康・スポーツ科学センター所長、グローバル教育センター所長、語学教育研究センター所長、基礎教育センター所長、美術館長及び総合機器センター所長を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督するとともに、大学を代表する。

3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

4 学部長は、学長を助け、学部に関する校務をつかさどる。

5 学生部長は、学長を助け、学生部に関する事項をつかさどる。

6 教務部長は、学長を助け、各学部の教務に関する事項をつかさどる。

7 入試部長は、学長を助け、入学試験に関する事項をつかさどる。

8 キャリア支援センター所長は、学長を助け、学生のキャリア支援に関する事項をつかさどる。

9 図書館長は、学長を助け、図書館を統轄する。

10 産業経営研究所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

11 総合情報基盤センター所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

12 健康・スポーツ科学センター所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

13 グローバル教育センター所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

14 語学教育研究センター所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

15 基礎教育センター所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

16 美術館長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

17 総合機器センター所長は、学長を助け、所管する事項をつかさどる。

(学科主任等)

第64条 各学部等に必要に応じて、学科主任等を置くことができる。

2 学科主任等は、学部長等を補佐する。

(教育職員)

第65条 本学に、教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。

2 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

3 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

4 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

5 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

6 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。また、必要に応じて、授業の補助及び一部を分担して担当することができる。

(事務局)

第66条 本学の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、別に定める。

(事務職員)

第67条 本学に、事務職員を置く。

2 事務職員に関し必要な事項は、別に定める。

(名誉教授)

第68条 本学に、名誉教授を置くことができる。

2 名誉教授に関し必要な事項は、別に定める。

第19章 教授会

(教授会)

第69条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして別に定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長(以下この項において「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 教授会の組織には、准教授その他の職員を加えることができる。

5 教授会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(センター教授会)

第70条 健康・スポーツ科学センター、語学教育研究センター及び基礎教育センターに教授会(以下「センター教授会」という。)を置く。

2 センター教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(学部長会議)

第71条 本学に学部長会議を置く。

2 学部長会議に関し必要な事項は、別に定める。

第20章 大学寮及び厚生保健

(大学寮)

第72条 本学に、大学寮を置く。

2 大学寮に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理)

第73条 本学に、職員及び学生の保健衛生を管理するために、医務室を設ける。

(医務職員)

第74条 医務室に、医務職員を置く。

(健康診断)

第75条 学生は、毎年定められた時期に健康診断を受けなければならない。

第21章 研究生及び科目等履修生

(研究生)

- 第76条 学長は、本学又は他大学の卒業者及びこれに準ずる者で、本学専属教員指導の下に特定の事項につき研究を志願する者の選考について教授会の意見を聴取した上で、研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生は、別に定める納付金及び手料金を納付しなければならない。
 - 3 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

- 第77条 学長は、本学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目の履修を志願する者の選考について教授会の意見を聴取した上で、在学生の学修の妨げのない限り科目等履修生として許可することがある。
- 2 科目等履修生を出願できる者は、第28条の規定による入学の資格を有する者又は履修に関して協定を結んだ高等学校の生徒でその高等学校長の推薦を受けた者とする。
 - 3 科目等履修生の単位認定については、第18条の規定による。
 - 4 科目等履修生は、別に定める選考料及び科目受講料を納付しなければならない。
 - 5 その他科目等履修生の出願に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生の期間)

- 第78条 科目等履修生を許可する期間は、通年又は前学期若しくは後学期とする。ただし、その都度願い出により継続することができる。

(規則の遵守)

- 第79条 研究生及び科目等履修生は、本学が定める諸規則を遵守しなければならない。

第22章 特待生

(特待生)

- 第80条 学長は、人物、学業ともに優秀な学生を、特待生として認定することがある。
- 2 特待生に関し必要な事項は、別に定める。

第23章 公開講座

(公開講座)

- 第81条 本学では適時に公開講座を設けることがある。
- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第24章 改正

(学則の改正)

- 第82条 学則の改正は、学長が学部長会議の意見を聴取した上で理事会に付議する。

附 則

1. 本学則は昭和35年4月1日から施行する。
2. 本学則は昭和37年4月1日商学部産業経営学科設置に伴いこれを改正施行する。
3. 本学則は昭和38年4月1日商学部経済学科及び工学部、機械工学科、電気工学科、工業化学科設置に伴いこれを改正施行する。
4. 本学則は昭和39年4月1日工学部、土木工学科、建築学科及び商学部第二部商学科、経済学科設置に伴いこれを改正施行する。
5. 本学則は昭和41年4月1日芸術学部、美術学科、デザイン学科、写真学科設置に伴いこれを改正施行する。
6. 本学則旧第12条、第15条及び第21条の一部改正に伴う昭和41年度以前に入学した学生に対する取り扱いについては(注)書の部分のほかすべて従前の規程による。
7. 本学則は昭和43年4月1日経営学部産業経営学科設置、芸術学部学生入学定員変更、図書館司書及び司書教諭関係科目設置並びに各学部授業科目名称変更、条文整備に伴いこれを改正施行する。
8. 経営学部産業経営学科設置に伴い昭和42年度以前に入学した商学部産業経営学科の学生の取り扱いについてはすべて従前の規程による。
9. 本学則は昭和44年4月1日工学部学生定員変更に伴いこれを改正施行する。
10. 本学則は昭和45年4月1日各学部授業科目変更、条文整備に伴いこれを改正施行する。
11. 本学則は昭和46年4月1日商学部及び芸術学部学生入学定員変更に伴いこれを改正施行する。
12. 本学則は昭和47年4月1日芸術専攻科増設に伴いこれを改正施行する。
13. 本学則は昭和48年4月1日各学部授業科目変更、条文整備に伴いこれを改正施行する。
14. 本学則は昭和49年4月1日各学部授業科目変更に伴いこれを改正施行する。
15. 本学則は昭和50年4月1日各学部授業科目変更、条文整備に伴いこれを改正施行する。
16. 本学則は昭和51年4月1日商学部、経営学部、工学部及び芸術学部の学生入学定員変更に伴いこれを改正施行する。
17. 本学則は昭和52年4月1日経営学部卒業単位の変更、工学部土木工学科コース制の採用、図書館司書、司書教諭科目の整備及び博物館に関する科目の設置に伴いこれを改正施行する。
18. 本学則は昭和53年4月1日工学部・芸術学部授業科目変更に伴いこれを改正施行する。
19. 本学則は昭和54年4月1日経営学部産業経営学科コース制採用に伴いこれを改正施行する。
20. 本学則は昭和55年4月1日学校教育法施行規則の一部改正に伴う入学資格の変更、商学部第二部、工学部、芸術学部の授業科目の変更、及び社会教育主事に関する科目の設置に伴いこれを改正施行する。
21. 本学則は昭和56年4月1日経営学部国際経営学科設置並びに経営学部産業経営学科学生入学定員変更に伴いこれを改

正施行する。

なお、本学則第9条の学生定員数にかかわらず経営学部は次のとおりとする。

学 部	学 科	昭和56年度		昭和57年度		昭和58年度	
		入学定員	定員総数	入学定員	定員総数	入学定員	定員総数
経営学部	国際経営学科	150	150	150	300	150	450
	産業経営学科	150	750	150	700	150	650

22. 本学則は昭和57年4月1日経営学部国際経営学科に教育職員免許状（商業）認定、並びに経営学部及び工学部授業科目変更に伴いこれを改正施行する。
23. 本学則は昭和58年4月1日商学部第二部、芸術学部授業科目の変更に伴いこれを改正施行する。
24. 本学則は昭和59年4月1日商学部授業科目の変更に伴いこれを改正施行する。
25. 本学則は昭和60年4月1日学則第34条の一部改正並びに芸術学部写真学科の授業科目名称変更、及び教職専門科目新設に伴いこれを改正施行する。
26. 本学則は昭和61年4月1日商学部経済学科の授業科目新設並びに芸術学部デザイン学科の授業科目名称変更に伴いこれを改正施行する。
27. 本学則は昭和62年4月1日経営学部並びに芸術学部授業科目新設・変更に伴いこれを改正施行する。
28. 本学則は昭和63年4月1日第15条別表6の一部変更及び商学部・経営学部の学科目新設・単位数変更、工学部工業化学科のコース廃止・新設又第2外国語の増設、社会教育主事の変更に伴いこれを改正施行する。
29. 本学則は、平成元年4月1日第13条別表1から5の一部変更及び工学部電気工学科のコース名称変更並びに第47条「専攻科」、第69条「教授会」、第70条「協議会」の一部改正に伴いこれを改正施行する。
30. 本学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第9条の規定にかかわらず、入学定員は平成3年度から平成11年度までの間は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入学定員	
商 学 部	経済学科	500
	商学科	500
商学部第二部	経済学科	150
	商学科	150
経 営 学 部	国際経営学科	250
	産業経営学科	250
工 学 部	機械工学科	130
	電気工学科	150
	工業化学科	130
	土木工学科	130
	建築学科	150
芸 術 学 部	美術学科	130
	デザイン学科	200
	写真学科	140

- 3 別表1及び別表2に掲げる授業科目のうち、高等学校教諭一種免許状「地理歴史」及び「公民」の授与をうけるために必要な科目の履修については、平成2年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成3年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 平成3年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条、第12条、第13条及び第14条の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 平成4年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第11条、第12条、第13条、第14条、第18条及び第20条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 商学部経済学科及び商学部第二部経済学科は、平成5年4月1日から学生募集を停止し、当該在学生の卒業を待って廃止する。
- 4 第11条の規定にかかわらず、経済学部経済学科の入学定員は平成5年度から平成11年度までの間は次のとおりとする。

学部	学 科	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度～平成11年度

			入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経済学部	経済学科	昼間主コース	500	500	500	1,000	500	1,500	500	2,000
		夜間主コース	150	150	150	300	150	450	150	600

附 則

- この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 国際文化学部の収容定員については、第10条の規定にかかわらず、平成6年度から平成9年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成6年度			平成7年度			平成8年度			平成9年度		
		入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
国際文化学部	国際文化学科	100	—	100	100	—	200	100	20	320	100	20	440
	地域文化学科	100	—	100	100	—	200	100	20	320	100	20	440

- 平成5年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条別表第2(一)(2)及び別表第3(一)(2)の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成4年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条別表第2(五)、別表第3(四)、別表第4(四)、別表第5(五)及び別表第6(四)の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成5年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第48条第1項の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 平成6年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条別表第2(一)(2)、別表第3(一)(2)、別表第6(一)(3)及び第48条第1項の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成5年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条第3項別表第5(一)の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 平成7年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条第3項別表第2(一)(2)、別表第3(一)(2)、別表第4(一)(1)(2)(二)(4)、別表第6(一)(3)及び学則第12条別表第8経営学部並びに第48条第1項の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、平成8年6月25日から施行する。
- 改正後の学則第39条の規定は、平成7年度に入学した学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 平成8年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第11条第3項別表第2(一)(2)、別表第3(一)(2)及び第52条第1項別表第13(3)の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成8年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第20条別表第9(1)、第21条別表第10及び第22条別表第11の規定の適用については、別に定めるとおりとする。

附 則

この学則は、平成9年7月29日から施行する。

附 則

- この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 平成9年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第3項別表第2(一)(2)、別表第3(一)(2)、別表第6(一)(3)、別表第7(一)(2)(ロ)及び(二)並びに学則第15条別表第8国際文化学部国際文化学科及び国際文化学部地域文化学科の規定の適用については、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、平成8年度及び平成9年度に入学した学生に対する改正前の学則第15条別表第8国際文化学部地域文化学科の規定については、授業科目数及び単位数欄中専門科目E群生活科学部門の「同一系から2科目6単位」を削り、「48単位」を「42単位」に、「72単位」を「66単位」に、「A群～G群から20単位」を「A群～G群から26単位」に改めて適用する。

附 則

- この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 商学部第一部観光産業学科及び商学部第二部観光産業学科の収容定員は、第12条の規定にかかわらず、平成11年度から平成14年度までは、次のとおりとする。

学部	学科	平成11年度			平成12年度			平成13年度			平成14年度		
		入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
商学部第一部	観光産業学科	150	—	150	150	—	300	150	15	465	150	15	630

商学部第二部	観光産業学科	50	—	50	50	—	100	50	5	155	50	5	210
--------	--------	----	---	----	----	---	-----	----	---	-----	----	---	-----

- 3 平成10年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第3項別表第1(二)4(三)、別表第2(一)(二)(三)(四)、別表第3(一)(二)(三)、別表第4(一)(1)(ハ)(2)(ロ)(ハ)(二)(4)(5)(6)、別表第6(二)(4)(5)(6)(三)及び別表第7並びに学則第15条別表第8経済学部経済学科、商学部第一部商学科、商学部第二部商学科、経営学部、芸術学部、国際文化学部国際文化学科及び国際文化学部地域文化学科の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 平成11年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第1項及び第3項別表第1(五)、別表第2(1)(一)(ロ)、(五)、別表第3(1)(一)(ロ)、(四)、別表第4(五)、別表第5、別表第6(一)(1)(2)、(五)、別表第7(一)(1)(ロ)「教科に関する科目」、(一)(2)(ロ)「教科に関する科目」、(五)並びに学則第15条別表第8工学部、芸術学部美術学科及びデザイン学科の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成11年度以前に入学した国際文化学部地域文化学科の学生に対する改正後の学則第22条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 第12条の規定にかかわらず、次の学部、学科の入学定員及び収容定員は、平成12年度から平成16年度までの間は次表のとおりとする。

学 部	学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
経済学部	経済学科	昼間主コース	485	1,985	470	1,955	455	1,910	440	1,850	425	1,790
		夜間主コース	145	595	140	585	135	570	130	550	125	530
商学部第一部	商 学 科	485	1,985	470	1,955	455	1,910	440	1,850	425	1,790	
商学部第二部	商 学 科	145	595	140	585	135	570	130	550	125	530	
経営学部	国際経営学科	240	990	230	970	220	940	210	900	200	860	
	産業経営学科	240	990	230	970	220	940	210	900	200	860	
工学部	機械工学科	127	517	124	511	121	502	118	490	115	478	
	電気工学科	145	595	140	585	135	570	130	550	125	530	
	工業化学科	127	517	124	511	121	502	118	490	115	478	
	土木工学科	127	517	124	511	121	502	118	490	115	478	
	建築学科	145	595	140	585	135	570	130	550	125	530	
芸術学部	美術学科	129	519	128	517	127	514	126	510	125	506	
	デザイン学科	198	798	196	794	194	788	192	780	190	772	
	写真学科	138	558	136	554	134	548	132	540	130	532	

附 則

- この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 平成12年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第1項、第3項別表第1、別表第2(1)(2)(一)(イ)(ロ)(二)(三)(四)(五)(六)、別表第3(1)(2)(一)(イ)(ロ)(二)(三)(四)(五)、別表第4(一)(1)(2)(二)(1)(2)(3)(4)(5)(三)(四)、別表第6(一)(3)(二)(1)(2)(3)(4)(三)及び学則第15条別表第8経済学部、経営学部、芸術学部並びに学則第57条第1項別表第13(3)の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成12年度に入学した学生に対しては、改正後の学則第13条第3項別表第2(2)(一)(ハ)、別表第3(2)(一)(ハ)、別表第6芸術学部(一)(2)「スペースデザインコース(ハ)、プロダクトデザインコース(ハ)」を適用する。

附 則

- この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 平成13年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第1項及び第3項別表第5(一)(2)、(五)、別表第6(一)(1)(3)(4)、(五)並びに学則第15条別表第9工学部並びに芸術学部の規定の適用については、なお従前の例による。
- 平成13年度に入学した学生に対しては、改正後の学則第13条第3項別表第4(一)(2)(ロ)、(五)を適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第7(一)(1)(ハ)の規定は、平成12年度入学生から適用する。
- 学則第12条の規定にかかわらず、次の学部、学科の入学定員及び収容定員は、平成14年度から平成16年度までの間は次表のとおりとする。

学 部	学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度		
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
経済学部	経済学科	昼間主コース	430	1,885	415	1,800	400	1,715
		夜間主コース	100	535	100	485	100	440

商学部第一部	商 学 科	430	1,885	415	1,800	400	1,715
商学部第二部	商 学 科	100	535	100	485	100	440

経 営 学 部	国際経営学科	220	940	210	900	200	860
	産業経営学科	220	940	210	900	200	860
工 学 部	機械工学科	106	487	103	460	100	433
	電気工学科	135	570	130	550	125	530
	工業化学科	106	487	103	460	100	433
	土木工学科	106	487	103	460	100	433
	建築学科	110	545	105	500	100	455
芸 術 学 部	美術学科	102	489	101	460	100	431
	デザイン学科	184	778	182	760	180	742
	写真学科	114	528	112	500	110	472

附 則

- この学則は、平成14年5月24日から施行する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第8(一)(1)及び(2)並びに学則第15条別表第9情報科学部の規定は、平成14年度入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 改正後の学則第13条第3項第1別表(一)(3)(甲)7、別表第2(1)(二)、(2)(二)、別表第3(1)(二)、(2)(二)、別表第6(二)(4)及び別表第7(二)(1)(2)の規定は、平成13年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第1(二)(2)、別表第4(二)(4)及び別表第8(二)(四)(五)の規定は平成14年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第2(1)(一)(ハ)の配当科目「英検中級Ⅰ、英検中級Ⅱ、英検上級Ⅰ、英検上級Ⅱ」及び学則第13条第3項別表第2(2)(ハ)の配当科目「TOEICⅠ、TOEICⅡ、TOEICⅢ」は、平成11年度入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 工学部工業化学科を物質生命化学科に、工学部土木工学科を都市基盤デザイン工学科に名称を変更することに伴う改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第5(一)(3)(4)、第15条別表第9及び第22条の規定は、平成16年度に入学した学生から適用し、平成15年度以前に入学した学生に対する適用については、なお従前の例による。
- 学則第12条の規定にかかわらず国際文化学部の3年次編入学定員については、平成18年度から適用する。
- 平成15年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第3項別表第1(一)(二)(三)(1)(四)(五)(六)、別表第2(1)(一)(イ)(甲)(二)(四)(五)(六)、(2)(一)(イ)(甲)(二)(四)(五)(六)、別表第3(1)(一)(イ)(甲)(二)(四)(五)、(2)(一)(イ)(甲)(二)(四)(五)、別表第4(一)(二)(四)(五)(六)、別表第5(一)(二)(四)(五)(六)、別表第6(一)(二)(1)(3)(4)(5)(四)(五)(六)、別表第7(一)(二)(四)(五)(六)、別表第8(四)、第15条別表第9経済学部、工学部、芸術学部及び国際文化学部の規定の適用については、なお従前の例による。
- 学則第18条第3項及び第18条の2の規定は、平成16年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第1(三)(2)の配当科目「外国語特講1、外国語特講2、外国語特講3及び外国語特講4」は、平成13年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第2(1)(三)(2)(三)、別表第3(1)(三)(2)(三)、別表第4(三)(イ)(甲)、別表第5(三)、別表第6(三)及び別表第7(三)(1)(2)の配当科目「特殊講義(英語会話)」は、平成13年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第2(1)(一)(ハ)の配当科目「1級商業簿記Ⅰ、1級商業簿記Ⅱ、1級会計学Ⅰ、1級会計学Ⅱ、1級工業簿記Ⅰ、1級工業簿記Ⅱ、1級原価計算Ⅰ、1級原価計算Ⅱ、特別講義Ⅴ(学生サポーター)」は、平成13年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条第3項別表第2(1)(一)(ハ)の配当科目「近代流通史、eコマース論、eコマース実践論、ビジネス特講Ⅱ(職業意識)」及び別表第3(1)(一)(ハ)の配当科目「ビジネス特講Ⅱ(職業意識)」は、平成15年度入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 改正後の学則第13条別表第2(1)(一)(ハ)、別表第3(1)(一)(ハ)の配当科目「プロジェクトワーク」は、平成14年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条別表第2(1)(一)(ハ)、(2)(一)(ハ)、別表第3(1)(一)(ハ)、(2)(一)(ハ)の配当科目「特別講義Ⅵ(インターンシップ)」は、平成15年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条別表第5(一)(3)(イ)の配当科目「応用化学実験(コンピュータ活用を含む)」、(ロ)の配当科目「無機化学」及び「インターンシップ」は、平成16年度入学生から適用する。
- 改正後の学則第13条別表第5(一)(4)(イ)の配当科目「地盤工学Ⅱ」、「建設CAD演習」、「建設材料実験」、「都市計画学」及び「環境水理実験」、(ハ)の配当科目「都市基盤建設施工学」、「建設材料工学演習」、「工学のための解析学」、「応用物理学Ⅱ」、「建設マネジメント」、「コンクリート構造工学演習」、「都市基盤計画学演習」、「橋梁工学」、「工業爆薬学」、

「都市基盤デザイン実習」、「都市建設施工学」及び「維持管理システム」は、平成16年度入学生から適用する。

- 6 改正後の学則第13条別表第7(二)(甲)の配当科目「実践学修A(学生サポーター)」は、平成14年度入学生から適用する。
- 7 改正後の学則第13条別表第8(三)の配当科目「英語会話Ⅶ」及び「英語会話Ⅷ」は、平成14年度入学生から適用する。
- 8 改正後の学則第15条別表第9工学部都市基盤デザイン工学科は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成17年4月22日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年7月22日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の学則第13条別表第2(1)(一)(ハ)の配当科目「経営分析、ビジネス特講Ⅳ」及び別表3(1)(一)(ハ)の配当科目「ビジネス特講Ⅳ」は、平成15年度入学生から適用する。
- 3 改正後の学則第13条別表第7(二)(1)(2)(3)の(甲)の配当科目「実践学修B(インターンシップ)」及び別表第8(一)(1)(2)の(ハ)の配当科目「情報と職業」は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成18年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条別表第3、別表第4、別表第5、別表第7、別表第9及び別表第14の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第2(1)(一)(ハ)の配当科目「特別講義Ⅶ(NHKメディア講座)、広告実践論及び中小企業経営論」は、平成15年度入学生から適用する。
- 4 改正後の学則第13条別表第2(2)(一)(ハ)の配当科目「特別講義Ⅶ(NHKメディア講座)、特別講義Ⅷ(日韓観光特講)」は、平成15年度入学生から適用する。
- 5 改正後の学則第13条別表第3(1)(一)(ハ)の配当科目「中小企業経営論」は、平成15年度入学生から適用する。
- 6 工学部電気工学科を電気情報工学科に名称変更することに伴う改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第5(一)(2)、第15条別表第9及び第22条の規定は、平成19年度に入学した学生から適用し、平成18年度以前に入学した学生に対する適用については、なお従前の例による。
- 7 平成18年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第12条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 8 商学部第二部観光産業学科は、平成19年4月1日から学生募集を停止し、当該在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第12条、第13条別表第1から別表第8、第15条別表第9、第22条及び第31条別表第14の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 芸術学部写真学科を写真映像学科に、国際文化学部地域文化学科を日本文化学科に名称変更することに伴う改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第6(一)(3)、別表第7(一)(2)、(二)(2)、(三)(2)、(四)(2)、第15条別表第9、第22条及び第31条別表第14の規定は、平成20年度に入学した学生から適用し、平成19年度以前に入学した学生に対する適用については、なお従前の例による。
- 4 改正後の学則第13条別表第1から別表第8の「基礎教育科目」の配当科目「ゼミナール・サポーター」は、平成17年度入学生から適用する。
- 5 芸術学部芸術工芸学科は、平成20年4月1日から学生募集を停止し、当該在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第1から別表第8、第15条別表第9及び第22条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第2の(2)(一)(ハ)の配当科目「観光特講Ⅰ、観光特講Ⅱ、観光特講Ⅲ及び観光特講Ⅳ」は、平成18年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第1から別表第8、第15条別表第9及び第22条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第1の(三)(2)、別表第2の(1)(三)、(2)(三)、別表第3の(三)、別表第4の(1)(一)(ロ)、(2)(三)、別表第5の(三)、別表第6の(三)、別表第7の(三)及び別表第8の(三)の配当科目「Four SkillsⅠ」「Four SkillsⅡ」「Introduction to Online English」「Professional Writing Skills」「Introduction to Translation」「Writing for Specific Purposes」「Advanced Reading & WritingⅠ」「Advanced Reading & WritingⅡ」「Domestic Job Training」「Overseas Job Training」は、平成19年度入学生から適用する。
- 4 改正後の学則第13条別表第2の(2)(一)(ロ)の配当科目「観光心理学」、(ハ)の配当科目「観光行動論」及び別表第5の(3)(ハ)の配当科目「火薬工学」は、平成19年度入学生から適用し、別表第7の(3)(ロ)の配当科目「心理学基礎実験演習」は平成20年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第1、別表第2(1)商学科(二)基礎教育科目から(五)教職に関する科目、(2)観光産業学科(二)基礎教育科目から(五)教職に関する科目、別表第3から別表第8、第15条別表第9及び第22条別表第14の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第1の(2)(ハ)、別表第2の(1)(2)(3)及び(2)(2)(3)、別表第3の(2)(3)、別表第4の(1)(2)(3)、別表第5の(2)(3)、別表第6の(2)(3)、別表第7の(2)(3)及び別表第8の(2)(3)の配当科目「キャリア形成戦略」は平成21年度の入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成23年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条別表第1から別表第9の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第7の(一)(2)(ハ)〇C群(日本語日本文学コース)の配当科目「オフィスコミュニケーション」は、平成22年度別表第7の(一)(2)(ハ)〇C群(歴史・文学コース)に配当し、平成22年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条別表第1から別表第9の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第2の(1)(一)(ロ)及び別表第2の(2)(一)(ハ)の配当科目「ソーシャルスキルワーク」は、平成22年度入学生から適用する。
- 4 改正後の学則第13条別表第2の(2)(一)(ハ)の配当科目「観光韓国語Ⅲ」、「観光中国語Ⅲ」、「キャリア実践講座・中級」は、平成23年度入学生から適用する。
- 5 改正後の学則第13条別表第2の(2)(一)(ハ)の配当科目「キャリア実践講座・初級」は、平成24年度入学生から適用する。
- 6 改正後の学則第13条別表第5の(一)(7)(ロ)の配当科目「ロボット設計基礎」は、平成24年度入学生から適用する。
- 7 改正後の学則第29条別表第14の(1)イ入学検定料は、平成25年度志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条及び第13条別表第1から別表第15の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第2の(一)(2)の配当科目「実践企画演習Ⅰ」、「実践企画演習Ⅱ」、「実践企画演習Ⅲ」、「実践企画演習Ⅳ」については、平成23年度入学生から適用する。
- 4 改正後の学則第13条別表第3の(1)(一)(ロ)の配当科目「地域振興論」、「国内金融研修」、「地域振興プロジェクト演習」、「インターンシップ」、「キャリア開発プランニング」は、平成23年度入学生から適用する。
- 5 改正後の学則第13条別表第3の(2)(一)(ハ)の配当科目「観光振興プロジェクト演習」、「鉄道産業プロジェクト演習」は、平成23年度入学生から適用する。
- 6 改正後の学則第13条別表第4の(一)(イ)の配当科目「地域振興論」、「キャリア開発プランニング」は、平成23年度入学生から適用する。
- 7 改正後の学則第13条別表第6の(一)(3)(ロ)の配当科目「応用生物科学」及び(ハ)の配当科目「分子生物科学」は、平成23年度入学生から適用する。
- 8 改正後の学則第23条の「図書館法第5条第1項第1号により司書の資格を得ようとする者」の規定は、平成24年4月1日から適用する。
- 9 改正後の学則第29条別表第15の(1)イ入学検定料は、平成26年度入学試験の志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条及び第13条別表第1から別表第15の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第13条別表第3の(1)(一)(ロ)の配当科目「特別講義Ⅸ」、「特別講義Ⅹ」、「特別講義Ⅺ」及び「特別講義Ⅻ」については、平成24年度入学生から適用する。
- 4 改正後の学則第13条別表第3の(2)(一)(ハ)の配当科目「特別講義Ⅸ」、「特別講義Ⅹ」、「特別講義Ⅺ」及び「特別講義Ⅻ」については、平成24年度入学生から適用する。
- 5 改正後の学則第29条別表第15の(1)イ入学検定料は平成27年度入学志願者から適用する。
- 6 九州産業大学学部長会議申し合わせは、廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条別表第1から別表第9、第15条別表第10、第22条及び第25条別表第13の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第29条別表第15の(1)イ入学検定料は、平成28年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条、第13条別表第1、別表第6、別表第8、別表第9、第15条別表第10、第22条及び第57条別表第15の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第29条別表第15の(1)イ入学検定料は、平成29年度入学志願者から適用する。

- 4 改正後の学則第71条は、平成28年10月26日から適用する。
- 5 九州産業大学卒業取扱内規は、廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条、第13条別表第2から別表第9、第15条別表第10、第22条、第29条別表第15及び第42条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 九州産業大学経済学部転主コースに関する規程は、廃止する。平成29年度以前に入学した学生に対する規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条、第13条別表第2から別表第9及び第80条の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第29条別表第15の(1)イ入学検定料は、平成31年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 平成31年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条別表第7及び別表第13の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第31条第4項及び第5項は、令和2年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条別表第6、別表第6の2、別表第9、第15条別表第10、第31条別表第15及び第57条別表第15の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第1条の3、第8条、第13条第4項別表第1、第13条第6項別表第2から別表第9、第15条別表第10、第31条別表第15及び第57条別表第15の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和4年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第13条第4項別表第1、第13条第6項別表第2から別表第9、第15条別表第10、第31条別表第15及び第57条別表第15の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の学則第29条別表第15の(1)イ入学検定料は、令和5年度入学志願者から適用する。
- 4 九州産業大学商学部第二部授業科目履修規程は、廃止する。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和5年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第12条、第13条別表第2から別表第5、別表第6の2から別表第7及び別表第9の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の学則第13条の別表第3の表中「キャリア演習（実践）」、別表第5の表中「地域キャリア演習」、別表第6の3の表中「住居・インテリアキャリア形成」及び別表第7の表中「キャリア演習（実践）」の規定の適用については、令和5年度入学生から適用する。
- 4 前2項の規定にかかわらず、改正後の学則第13条別表第6の2の表中「キャリア演習（実践）」、別表第6の3の表中「総合プログラム実習Ⅰ」、「総合プログラム実習Ⅱ」、「総合プログラム特論Ⅰ」、「総合プログラム特論Ⅱ」及び「総合プログラム講座」の規定の適用については、令和4年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 令和6年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第12条、第13条別表第1から第9、第15条別表第10、第22条、第31条別表第15(3)及び第57条別表第15(3)の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 令和7年度以前に入学した学生に対する改正後の学則第8条、第12条、第13条、第13条別表第2から第9、第15条別表第10、第22条、第31条別表第15(3)及び第57条別表第15(3)の規定の適用については、なお従前の例による。

別表第1

(一) 基礎教育科目

(1) 導入科目

大学スタディスキル	2
-----------	---

(2) 学修基礎科目

実用国語(文章力)	2	実用国語(伝達力)	2	実用数学(計算力)A	1	実用数学(計算力)B	1	実用数学(活用力)	1
くらしの中の数学A	1	くらしの中の数学B	1	AI導入	1	プログラミング導入	1	データリテラシー	1
データサイエンス基礎	1	データサイエンス実践演習	1						

(3) キャリア科目

キャリア形成基礎論	2	キャリア開発論	2	キャリア形成戦略	2	主権者リテラシー	2	消費者リテラシー	2
九産大力	2	学生サポーター	2	学生ボランティア入門	2				

(4) 文理芸術融合科目

実践クロス講座	2	実践クロス演習	2	実践力育成演習	2	課題解決演習	2	教養講座	2
実践コラボ講座	2	実践コラボ演習	2						

文理芸術融合科目は、原則として科目名に()書きで主題を付し、個別の科目として開講する。

(5) 教養科目

日本の歴史A	1	日本の歴史B	1	世界の歴史A	1	世界の歴史B	1	哲学の世界A	1
哲学の世界B	1	文学の世界A	1	文学の世界B	1	心理学の世界A	1	心理学の世界B	1
文化人類学A	1	文化人類学B	1	美学・美術史A	1	美学・美術史B	1	芸術の世界A	1
芸術の世界B	1	人文科学の世界	2	法学A	1	法学B	1	日本国憲法A	1
日本国憲法B	1	現代の政治A	1	現代の政治B	1	地理の世界A	1	地理の世界B	1
人権・同和問題A	1	人権・同和問題B	1	ジェンダーと社会A	1	ジェンダーと社会B	1	社会科学の世界A	1
社会科学の世界B	1	科学の世界A	1	科学の世界B	1	地球環境A	1	地球環境B	1
生物の世界A	1	生物の世界B	1	自然科学の世界A	1	自然科学の世界B	1	スポーツ科学演習A	1
スポーツ科学演習B	1	心と身体の健康A	1	心と身体の健康B	1				

(二) 外国語科目

Reading & Writing I	1	Reading & Writing II	1	Reading & Writing III	1	Reading & Writing IV	1	Listening & Speaking I	1
Listening & Speaking II	1	Listening & Speaking III	1	Listening & Speaking IV	1	English Plus A	1	English Plus B	1
English Expressions A	1	English Expressions B	1	Four Skills I	1	Four Skills II	1	TOEIC Basic A	1
TOEIC Basic B	1	Domestic Job Training	4	Overseas Job Training	4	TOEIC Plus A	1	TOEIC Plus B	1
Reading Focus A	1	Reading Focus B	1	Writing Focus A	1	Writing Focus B	1	Business English A	1
Business English B	1	English Pronunciation A	1	English Pronunciation B	1	Introduction to Translation A	1	Introduction to Translation B	1
Global Perspectives A	1	Global Perspectives B	1	ドイツ語 I	1	ドイツ語 II	1	ドイツ語 III	1
ドイツ語 IV	1	ドイツ語会話 I	1	ドイツ語会話 II	1	ドイツ語会話 III	1	ドイツ語会話 IV	1
フランス語 I	1	フランス語 II	1	フランス語 III	1	フランス語 IV	1	フランス語会話 I	1
フランス語会話 II	1	フランス語会話 III	1	フランス語会話 IV	1	韓国語 I	1	韓国語 II	1
韓国語 III	1	韓国語 IV	1	韓国語会話 I	1	韓国語会話 II	1	韓国語会話 III	1
韓国語会話 IV	1	実用韓国語	1	上級韓国語	1	中国語 I	1	中国語 II	1
中国語 III	1	中国語 IV	1	中国語会話 I	1	中国語会話 II	1	中国語会話 III	1
中国語会話 IV	1	実用中国語	1	上級中国語	1				

別表第2

経済学部経済学科の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 必修科目

マクロ経済学 I	2	ミクロ経済学 I	2
----------	---	----------	---

(2) 選択必修科目

九州産業論	2	経済学入門	2	経済学入門	2	情報処理入門	2	データサイエンス入門	2
微分積分 I	2	ゼミナールI	2	キャリアデザイン	2	経済原論	2	線形代数	2
微分積分 II	2	マクロ経済学 II	2	マクロ経済学 III	2	ミクロ経済学 II	2	ミクロ経済学 III	2
ゼミナール II	2	ゼミナール III	4	卒業研究ゼミナール	4	卒業論文ゼミナール	8		

(3) 選択科目

会計学入門	2	経済英語	2	経済史	2	国際法 I	2	情報処理演習(表計算)	2
情報処理演習(文書作成)	2	初級簿記 I	2	先端技術産業論	2	地域研究概説	2	統計学 I	2
公務員基礎演習(言語)	2	公務員基礎演習(非言語)	2	実践企画演習 I	4	実践キャリア演習	2	特講A	2
特講B	2	特講C	2	特講D	2	特講E	2	特講F	2
特講G	2	特講H	2	AI実践応用講座	2	AIプログラミング	2	アジア経済論	2
欧米経済論	2	外国史 I	2	外国史 II	2	開発経済学	2	金融機関論	2
金融論	2	経営学	2	経営管理論	2	経済思想史	2	経済政策	2
経済地理(欧米)	2	経済地理(日本・アジア)	2	ゲームの理論と社会	2	国際経済学	2	国際法 II	2
財政学	2	財務会計	2	自然地理学 I	2	自然地理学 II	2	社会思想史	2
社会政策	2	社会調査論 I	2	社会調査論 II	2	社会保障論	2	証券市場論	2
商法	2	情報処理論	2	初級簿記 II	2	人文地理学 I	2	人文地理学 II	2
心理学 I	2	心理学 II	2	政治学	2	西洋経済史	2	西洋史	2
地域経済論	2	地誌学 I	2	地誌学 II	2	データ分析の基礎	2	哲学 I	2
哲学 II	2	統計学 II	2	統計学 III	2	東洋史	2	日本近代史	2
日本経済史	2	日本史 I	2	日本史 II	2	農業経済学	2	貿易論	2
法学概論 I	2	法学概論 II	2	民法	2	労働経済学	2	海外研修	6
公務員対策演習 I	2	公務員対策演習 II	2	実践企画演習 II	4	環境経済学	2	企業戦略論	2
経営情報システム論	2	経済学史	2	経済データ分析	2	経済変動論 I	2	経済変動論 II	2
計量経済学	2	公共経済学	2	国際金融論	2	サービス経済論	2	産業組織論	2
社会福祉論	2	上級マクロ経済学	2	上級ミクロ経済学	2	地域開発論	2	地域調査実習	4
地方財政論	2	中小企業論	2	都市地理学	2	マーケティング論	2	リスクの経済学	2
公務員対策演習 III	2	公務員対策演習 IV	2	公務員対策演習 V	2				

(二) 留学生に関する科目

(1) 日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(2) 日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	教育実習 II	2	社会科教育法	4
地理歴史科教育法	4	公民科教育法	4	教科指導法 I (社会)	2	教科指導法 I (地理歴史)	2	教科指導法 I (公民)	2
教科指導法 II (社会)	2	学校発達心理学	2	同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2
特別な教育的ニーズの理解とその支援	2								

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第3

商学部経営・流通学科の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

○企業経営コース

(イ) 選択必修科目

経済学入門	2	経営学入門	2	ビジネス開発入門	2	企業論	2	経営管理論	2
経営戦略論	2	生産管理論	2	人的資源管理論	2	経営史	2	ベンチャービジネス論	2

(ロ) 選択科目

情報リテラシー I	2	情報リテラシー II	2	社会情報概論	2	データ分析 I	2	プログラミング論	2
データ分析 II	2	国際ビジネス入門	2	マーケティング実践演習 I (販売士3級)	2	マーケティング実践演習 II (販売士2級)	4	ビジネス演習A(ビジネス能力検定2級)	2
中小企業診断士入門	4	初級簿記	4	中級簿記	4	上級簿記	4	工業簿記	4
ファイナンス演習A(証券外務員二種)	4	ファイナンス演習B(証券外務員一種)	4	ファイナンス演習C(FP3級)	4	ファイナンス演習D(FP2級)	4	eコマース演習(ネットショップ実務士検定)	4
情報技術基礎演習(マルチメディア検定)	4	特別講義 I A	1	特別講義 I B	1	特別講義 I C	1	特別講義 I D	1
特別講義 II A	1	特別講義 II B	1	特別講義 II C	1	特別講義 II D	1	特別講義 III A	1
特別講義 III B	1	特別講義 III C	1	特別講義 III D	1	社会情報論A	1	社会情報論B	1
社会情報論C	1	社会情報論D	1	データ分析 III	2	コンピュータ概論	2	情報ネットワーク論	2
メディア心理学	2	プログラミング演習	2	国際マーケティング論	2	国際ビジネス事情	2	国際経営論	2
在外研修	4	アジアビジネス研修A	2	アジアビジネス研修B	2	アジアビジネス研修C	2	商業概論	2
情報セキュリティ論	2	データベース論	2	マルチメディア論	2	デジタルビジネス演習A	1	デジタルビジネス演習B	1
デジタルビジネス演習C	1	デジタルビジネス演習D	1	マルチメディア演習	2	データ分析プログラミングA	2	データ分析プログラミングB	2
異文化マネジメント論	2	多国籍企業論	2	国際経営戦略論	2	国際金融論	2	職業指導	4
ゼミナール I	2	簿記特講	4	キャリア演習(入門)	2	ゼミナール II	2	キャリア演習(SPI)	2
キャリア演習(実践)	6	ゼミナール III	4	ゼミナール IV	4	卒業論文ゼミナール	8	ビジネス開発論	2
ビジネスコーチング	4	経営組織論	2	技術経営論	2	労使関係論	2	経営情報論	2
人材開発論	2	中小企業論	2	CSR論	2	ビジネス法	2	経営分析論	2
ビジネス開発演習 I	2	ビジネス開発演習 II	2	ビジネス開発演習 III	2	ビジネス開発演習 IV	2	中小企業マネジメント講座	2
簿記入門	2	簿記会計の基礎	2	ファイナンス入門	2	財務会計の基礎	2	管理会計の基礎	2
財務諸表分析	2	商業簿記演習	2	工業簿記演習	2	金融論	2	ファイナンス論	2
金融リテラシー	2	保険論	2	財務会計論	2	管理会計論	2	原価計算論	2
税務会計論	2	生活保障論	2	ベンチャーファイナンス論	2	証券市場論	2	地域金融論	2
金融機関論	2	資金調達論	2	コーポレートファイナンス論	2	企業評価論	2	リスクマネジメント論	2
実践投資演習 I	2	実践投資演習 II	2	マーケティング入門	2	流通入門	2	マーケティング論	2
マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ論	2	ブランド論	2	交通論	2	流通ビジネス論	2
流通システム論	2	デジタルマーケティング論	2	広告論	2	消費者行動論	2	商品開発論	2
ロジスティクス論	2	eコマース論	2	小売マーケティング論	2	流通政策論	2	人材マネジメント論	2
流通史	2	産業界リサーチ演習	2						

○会計・ファイナンスコース

(イ) 選択必修科目

経済学入門	2	簿記入門	2	簿記会計の基礎	2	ファイナンス入門	2	財務会計の基礎	2
管理会計の基礎	2	金融論	2	ファイナンス論	2	金融リテラシー	2	保険論	2

(ロ) 選択科目

情報リテラシー I	2	情報リテラシー II	2	社会情報概論	2	データ分析 I	2	プログラミング論	2
データ分析 II	2	国際ビジネス入門	2	マーケティング実践演習 I (販売士3級)	2	マーケティング実践演習 II (販売士2級)	4	ビジネス演習A (ビジネス能力検定2級)	2
中小企業診断士入門	4	初級簿記	4	中級簿記	4	上級簿記	4	工業簿記	4
ファイナンス演習A(証券外務員二種)	4	ファイナンス演習B(証券外務員一種)	4	ファイナンス演習C (FP3級)	4	ファイナンス演習D (FP2級)	4	eコマース演習(ネットショップ実務士検定)	4
情報技術基礎演習(マルチメディア検定)	4	特別講義 I A	1	特別講義 I B	1	特別講義 I C	1	特別講義 I D	1
特別講義 II A	1	特別講義 II B	1	特別講義 II C	1	特別講義 II D	1	特別講義 III A	1
特別講義 III B	1	特別講義 III C	1	特別講義 III D	1	社会情報論A	1	社会情報論B	1
社会情報論C	1	社会情報論D	1	データ分析 III	2	コンピュータ概論	2	情報ネットワーク論	2
メディア心理学	2	プログラミング演習	2	国際マーケティング論	2	国際ビジネス事情	2	国際経営論	2
在外研修	4	アジアビジネス研修A	2	アジアビジネス研修B	2	アジアビジネス研修C	2	商業概論	2
情報セキュリティ論	2	データベース論	2	マルチメディア論	2	デジタルビジネス演習A	1	デジタルビジネス演習B	1
デジタルビジネス演習C	1	デジタルビジネス演習D	1	マルチメディア演習	2	データ分析プログラミングA	2	データ分析プログラミングB	2
異文化マネジメント論	2	多国籍企業論	2	国際経営戦略論	2	国際金融論	2	職業指導	4
ゼミナール I	2	簿記特講	4	キャリア演習(入門)	2	ゼミナール II	2	キャリア演習(SPI)	2
キャリア演習(実践)	6	ゼミナール III	4	ゼミナール IV	4	卒業論文ゼミナール	8	財務諸表分析	2
商業簿記演習	2	工業簿記演習	2	財務会計論	2	管理会計論	2	原価計算論	2
税務会計論	2	生活保障論	2	ベンチャーファイナンス論	2	証券市場論	2	地域金融論	2
金融機関論	2	資金調達論	2	コーポレートファイナンス論	2	企業評価論	2	リスクマネジメント論	2
実践投資演習 I	2	実践投資演習 II	2	経営学入門	2	ビジネス開発入門	2	企業論	2
経営管理論	2	経営戦略論	2	生産管理論	2	人的資源管理論	2	経営史	2
ベンチャービジネス論	2	ビジネス開発論	2	ビジネスコーチング	4	経営組織論	2	技術経営論	2
労使関係論	2	経営情報論	2	人材開発論	2	中小企業論	2	CSR論	2
ビジネス法	2	経営分析論	2	ビジネス開発演習 I	2	ビジネス開発演習 II	2	ビジネス開発演習 III	2
ビジネス開発演習IV	2	中小企業マネジメント講座	2	マーケティング入門	2	流通入門	2	マーケティング論	2
マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ論	2	ブランド論	2	交通論	2	流通ビジネス論	2
流通システム論	2	デジタルマーケティング論	2	広告論	2	消費者行動論	2	商品開発論	2
ロジスティクス論	2	eコマース論	2	小売マーケティング論	2	流通政策論	2	人材マネジメント論	2
流通史	2	産業リサーチ演習	2						

○マーケティングコース

(イ) 選択必修科目

経済学入門	2	マーケティング入門	2	流通入門	2	マーケティング論	2	マーケティング戦略論	2
マーケティングリサーチ論	2	ブランド論	2	交通論	2	流通ビジネス論	2	流通システム論	2

(ロ) 選択科目

情報リテラシー I	2	情報リテラシー II	2	社会情報概論	2	データ分析 I	2	プログラミング論	2
データ分析 II	2	国際ビジネス入門	2	マーケティング実践演習 I (販売士3級)	2	マーケティング実践演習 II (販売士2級)	4	ビジネス演習A (ビジネス能力検定2級)	2
中小企業診断士入門	4	初級簿記	4	中級簿記	4	上級簿記	4	工業簿記	4
ファイナンス演習A(証券外務員二種)	4	ファイナンス演習B(証券外務員一種)	4	ファイナンス演習C(FP3級)	4	ファイナンス演習D(FP2級)	4	eコマース演習(ネットショップ実務士検定)	4
情報技術基礎演習(マルチメディア検定)	4	特別講義 I A	1	特別講義 I B	1	特別講義 I C	1	特別講義 I D	1
特別講義 II A	1	特別講義 II B	1	特別講義 II C	1	特別講義 II D	1	特別講義 III A	1
特別講義 III B	1	特別講義 III C	1	特別講義 III D	1	社会情報論A	1	社会情報論B	1
社会情報論C	1	社会情報論D	1	データ分析III	2	コンピュータ概論	2	情報ネットワーク論	2
メディア心理学	2	プログラミング演習	2	国際マーケティング論	2	国際ビジネス事情	2	国際経営論	2
在外研修	4	アジアビジネス研修A	2	アジアビジネス研修B	2	アジアビジネス研修C	2	商業概論	2
情報セキュリティ論	2	データベース論	2	マルチメディア論	2	デジタルビジネス演習A	1	デジタルビジネス演習B	1
デジタルビジネス演習C	1	デジタルビジネス演習D	1	マルチメディア演習	2	データ分析プログラミングA	2	データ分析プログラミングB	2
異文化マネジメント論	2	多国籍企業論	2	国際経営戦略論	2	国際金融論	2	職業指導	4
ゼミナール I	2	簿記特講	4	キャリア演習(入門)	2	ゼミナール II	2	キャリア演習(SPI)	2
キャリア演習(実践)	6	ゼミナール III	4	ゼミナール IV	4	卒業論文ゼミナール	8	デジタルマーケティング論	2
広告論	2	消費者行動論	2	商品開発論	2	ロジスティクス論	2	eコマース論	2
小売マーケティング論	2	流通政策論	2	人材マネジメント論	2	流通史	2	産業リサーチ演習	2
経営学入門	2	ビジネス開発入門	2	企業論	2	経営管理論	2	経営戦略論	2
生産管理論	2	人的資源管理論	2	経営史	2	ベンチャービジネス論	2	ビジネス開発論	2
ビジネスコーチング	4	経営組織論	2	技術経営論	2	労使関係論	2	経営情報論	2
人材開発論	2	中小企業論	2	CSR論	2	ビジネス法	2	経営分析論	2
ビジネス開発演習 I	2	ビジネス開発演習 II	2	ビジネス開発演習 III	2	ビジネス開発演習 IV	2	中小企業マネジメント講座	2
簿記入門	2	簿記会計の基礎	2	ファイナンス入門	2	財務会計の基礎	2	管理会計の基礎	2
財務諸表分析	2	商業簿記演習	2	工業簿記演習	2	金融論	2	ファイナンス論	2
金融リテラシー	2	保険論	2	財務会計論	2	管理会計論	2	原価計算論	2
税務会計論	2	生活保障論	2	ベンチャーファイナンス論	2	証券市場論	2	地域金融論	2
金融機関論	2	資金調達論	2	コーポレートファイナンス論	2	企業評価論	2	リスクマネジメント論	2
実践投資演習 I	2	実践投資演習 II	2						

○グローバル・フードビジネス・プログラム

(イ) 必修科目

GFBの基礎	4	食と文化	2	GFBの展開・応用	4	フードシステム論	2	GFBの実践	4
食品ビジネス研究 I	4	食品ビジネス研究 II	4	卒業論文ゼミナール	8				

(ロ) 選択必修科目

PBL A	2	PBL B	2	PBL C	2	PBL D	2
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(ハ) 選択科目

TOEIC講座A	2	TOEIC講座B	2	TOEIC講座C	2	TOEIC講座D	2	プロジェクト型インターンシップ	4
現代の経済	2	特別講義A	4	特別講義B	2	九州の食	2	海外語学研修	4
フードビジネス論	2	海外フードビジネス研修	4	情報リテラシー	2	農業経済学	2	地域マーケティング論	2
心理学概論	2	観光データサイエンス	2	広告実践論	2	ビジネスシステム論	2	コミュニティ・ビジネス論	2
地域デジタルマーケティング	2	基礎数学	2	化学 I	2	生物学 I	2	生物学 II	2
食品科学	2	食品衛生学	2	微生物学	2	6次産業化概論	2	地域食産業論	2
地域海洋産業論	2	フードツーリズム論	2	クリティカルシンキング	2	異文化コミュニケーション論	2	スポーツと開発	2
アジア経済論	2	実践プレゼンテーション	2	国際関係論	2	アジア文化論	2	現代アジア事情	2
住居計画	2	マルチメディア概論	2	ソーシャルデザイン概論	2	企画デザイン演習 I	4	業務系施設インテリア概論	2
住居設備	2	ブランドデザイン演習	4	Webデザイン演習	4	空間設計概論	2	企画デザイン論	2
経営学入門	2	マーケティング入門	2	ファイナンス入門	2	簿記会計の基礎	2	簿記入門	2
国際ビジネス入門	2	社会情報概論	2	流通入門	2	流通ビジネス論	2	財務諸表分析	2
マーケティング論	2	流通システム論	2	国際マーケティング論	2	国際経営論	2	国際ビジネス事情	2
ビジネス開発論	2	ベンチャービジネス論	2	経営戦略論	2	マーケティングリサーチ論	2	企業論	2
ロジスティクス論	2	マルチメディア論	2	マーケティング戦略論	2	異文化マネジメント論	2	国際経営戦略	2
eコマース論	2								

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(二)の2 日本語重点教育プログラム科目

日本語読解 I	1	日本語読解 II	1	日本語文法 I	1	日本語文法 II	1	日本語文字・語彙 I	1
日本語文字・語彙 II	1	日本語聴解 I	1	日本語聴解 II	1	日本語ラボ I	1	日本語ラボ II	1
日本語ラボ III	1	日本語ラボ IV	1	日本語ラボ V	1	日本語ラボ VI	1		

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	商業科教育法	4	情報科教育法	4
教科指導法 I (商業)	2	教科指導法 I (情報)	2	学校発達心理学	2	同和教育論	2	教育社会学	2
教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2						

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第5

地域共創学部の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 観光学科

○ホスピタリティ・ビジネスコース

(イ) 必修科目

九州地域学	2	地域共創論	2
-------	---	-------	---

(ロ) 選択必修科目

観光学入門Ⅰ	2	観光学入門Ⅱ	2	会計学入門	2	経営学入門	2	経済学入門	2
マーケティング入門	2	観光地理学入門	2	九州産業論	2	現代社会理論	2	観光調査法	2
世界遺産論	2	中国の現代社会	2	韓国の現代社会	2				

(ハ) 選択科目

情報リテラシー	2	異文化コミュニケーション論	2	ビジネススキル	2	ロジカルライティング入門	2	クリティカルシンキング	2
観光・地域プロジェクト	2	キャリアデザイン	2	九州とアジアの文化交流	2	国際関係論	2	実践プレゼンテーション	2
グローバル研修	4	アジア経済論	2	地域社会論	2	観光・地域事業プロジェクトⅠ	2	観光・地域事業プロジェクトⅡ	2
地域共創プロジェクトⅠ	2	地域共創プロジェクトⅡ	2	観光・地域振興プロジェクトⅠ	2	観光・地域振興プロジェクトⅡ	2	観光まちづくりプロジェクトⅠ	2
観光まちづくりプロジェクトⅡ	2	特別講座	2	プレゼминаール	2	法学概論Ⅰ	2	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2
旅行検定講座Ⅰ	2	旅行検定講座Ⅱ	2	地域共創ゼミナールⅠ	2	地域共創ゼミナールⅡ	2	自然地理学	4
人文地理学	4	地誌学	4	日本史	4	社会学Ⅰ	2	社会学Ⅱ	2
哲学	4	旅行検定講座Ⅲ	2	旅行検定講座Ⅳ	2	観光英語	2	観光中国語	2
観光韓国語	2	TOEICⅠ	2	TOEFL	2	就業体験入門	2	国内観光研修A	2
国内観光研修B	2	国外観光研修A	4	国外観光研修B	4	卒業研究ゼミナールⅠ	4	観光データサイエンス	2
国際観光論	2	ビジネス倫理とリスクマネジメント	2	宗教と観光	2	外国史	4	日本史学特講Ⅰ	2
日本史学特講Ⅱ	2	倫理学概論	2	TOEICⅡ	2	Advanced English	2	実践韓国語	2
実践中国語	2	SPI講座	2	観光インターンシップ	6	卒業研究ゼミナールⅡ	8	観光経営論	2
旅行産業論	2	ホテルマネジメント	2	エアラインビジネス論	2	観光心理学	2	ホスピタリティ・ビジネス論	2
観光交通論	2	観光マーケティング論	2	ブライダルビジネス	2	サービスマネジメント	2	観光・地域ICT論	2
フードツーリズム論	2	交通産業論	2	観光経済論	2	観光史	2	地域マーケティング論	2
地域観光論	2	地域活性化システム論	2	まち歩き企画論	2	サステイナブルツーリズム論	2	観光社会学	2
コミュニティ・ビジネス論	2	地域インバウンドツーリズム	2	地域デジタルマーケティング	2	広告実践論	2	観光まちデザイン論	2
観光地域経済論	2								

○観光地域デザインコース

(イ) 必修科目

九州地域学	2	地域共創論	2
-------	---	-------	---

(ロ) 選択必修科目

観光学入門Ⅰ	2	観光学入門Ⅱ	2	会計学入門	2	経営学入門	2	経済学入門	2
マーケティング入門	2	観光地理学入門	2	九州産業論	2	現代社会理論	2	観光調査法	2
世界遺産論	2	中国の現代社会	2	韓国の現代社会	2				

(ハ) 選択科目

情報リテラシー	2	異文化コミュニケーション論	2	ビジネススキル	2	ロジカルライティング入門	2	クリティカルシンキング	2
観光・地域プロジェクト	2	キャリアデザイン	2	九州とアジアの文化交流	2	国際関係論	2	実践プレゼンテーション	2
グローバル研修	4	アジア経済論	2	地域社会論	2	観光・地域事業プロジェクトⅠ	2	観光・地域事業プロジェクトⅡ	2
地域共創プロジェクトⅠ	2	地域共創プロジェクトⅡ	2	観光・地域振興プロジェクトⅠ	2	観光・地域振興プロジェクトⅡ	2	観光まちづくりプロジェクトⅠ	2
観光まちづくりプロジェクトⅡ	2	特別講座	2	プレゼминаール	2	法学概論Ⅰ	2	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2
旅行検定講座Ⅰ	2	旅行検定講座Ⅱ	2	地域共創ゼミナールⅠ	2	地域共創ゼミナールⅡ	2	自然地理学	4
人文地理学	4	地誌学	4	日本史	4	社会学Ⅰ	2	社会学Ⅱ	2
哲学	4	旅行検定講座Ⅲ	2	旅行検定講座Ⅳ	2	観光英語	2	観光中国語	2
観光韓国語	2	TOEICⅠ	2	TOEFL	2	就業体験入門	2	国内観光研修A	2
国内観光研修B	2	国外観光研修A	4	国外観光研修B	4	卒業研究ゼミナールⅠ	4	観光データサイエンス	2
国際観光論	2	ビジネス倫理とリスクマネジメント	2	宗教と観光	2	外国史	4	日本史学特講Ⅰ	2
日本史学特講Ⅱ	2	倫理学概論	2	TOEICⅡ	2	Advanced English	2	実践韓国語	2
実践中国語	2	SPI講座	2	観光インターンシップ	6	卒業研究ゼミナールⅡ	8	観光経営論	2
旅行産業論	2	ホテルマネジメント	2	エアラインビジネス論	2	観光心理学	2	ホスピタリティ・ビジネス論	2
観光交通論	2	観光マーケティング論	2	ブライダルビジネス	2	サービスマネジメント	2	観光・地域ICT論	2
フードツーリズム論	2	交通産業論	2	観光経済論	2	観光史	2	地域マーケティング論	2
地域観光論	2	地域活性化システム論	2	まち歩き企画論	2	サステイナブルツーリズム論	2	観光社会学	2
コミュニティ・ビジネス論	2	地域インバウンドツーリズム	2	地域デジタルマーケティング	2	広告実践論	2	観光まちデザイン論	2
観光地域経済論	2								

○グローバル・フードビジネス・プログラム

(イ) 必修科目

GFBの基礎	4	食と文化	2	GFBの展開・応用	4	フードシステム論	2	GFBの実践	4
食品ビジネス研究 I	4	食品ビジネス研究 II	4	卒業論文ゼミナール	8				

(ロ) 選択必修科目

PBL A	2	PBL B	2	PBL C	2	PBL D	2
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(ハ) 選択科目

TOEIC講座A	2	TOEIC講座B	2	TOEIC講座C	2	TOEIC講座D	2	現代の経済	2
特別講義A	4	特別講義B	2	九州の食	2	海外語学研修	4	プロジェクト型インターンシップ	4
フードビジネス論	2	海外フードビジネス研修	4	ファイナンス入門	2	簿記入門	2	基礎数学	2
化学 I	2	生物学 I	2	生物学 II	2	スポーツと開発	2	住居計画	2
マルチメディア概論	2	ソーシャルデザイン概論	2	企画デザイン演習 I	4	農業経済学	2	流通ビジネス論	2
財務諸表分析	2	マーケティング論	2	心理学概論	2	食品科学	2	食品衛生学	2
微生物学	2	6次産業化概論	2	アジア経済論	2	国際関係論	2	アジア文化論	2
業務系施設インテリア概論	2	住居設備	2	ブランドデザイン演習	4	Webデザイン演習	4	ロジスティクス論	2
マルチメディア論	2	eコマース論	2	マーケティング戦略論	2	ビジネスシステム論	2	地域食産業論	2
地域海洋産業論	2	現代アジア事情	2	空間設計概論	2	企画デザイン論	2	観光学入門 I	2
九州地域学	2	経営学入門	2	マーケティング入門	2	クリティカルシンキング	2	異文化コミュニケーション論	2
情報リテラシー	2	会計学入門	2	地域共創論	2	九州産業論	2	実践プレゼンテーション	2
観光調査法	2	地域マーケティング論	2	地域観光論	2	観光データサイエンス	2	広告実践論	2
コミュニティ・ビジネス論	2	地域デジタルマーケティング	2	フードツーリズム論	2	地域インバウンドツーリズム	2		

(2) 地域づくり学科

○地域行政コース

(イ) 必修科目

九州地域学	2	地域共創論	2
-------	---	-------	---

(ロ) 選択必修科目

地域行政入門	2	地域マネジメント入門	2	法学概論 I	2	法学概論 II (国際法を含む)	2	現代情報・メディア論	2
福岡の歴史	2	憲法 I	2	憲法 II	2	地域資源論	2		

(ハ) 選択科目

情報リテラシー	2	異文化コミュニケーション論	2	ビジネススキル	2	ロジカルライティング入門	2	クリティカルシンキング	2
観光・地域プロジェクト	2	キャリアデザイン	2	九州とアジアの文化交流	2	国際関係論	2	実践プレゼンテーション	2
グローバル研修	4	アジア経済論	2	地域社会論	2	観光・地域事業プロジェクト I	2	観光・地域事業プロジェクト II	2
地域共創プロジェクト I	2	地域共創プロジェクト II	2	観光・地域振興プロジェクト I	2	観光・地域振興プロジェクト II	2	観光まちづくりプロジェクト I	2
観光まちづくりプロジェクト II	2	特別講座	2	プレゼミナール	2	経済学入門	2	経営学入門	2
マーケティング入門	2	地域共創ゼミナール I	2	地域共創ゼミナール II	2	政治学	2	行政学	2
社会学 I	2	社会学 II	2	人文地理学	4	自然地理学	4	日本史	4
地域行政特講 I	2	地域行政特講 II	2	就業体験入門	2	卒業研究ゼミナール I A	2	卒業研究ゼミナール I B	2
倫理学概論	2	地誌学	4	哲学	4	心理学	4	外国史	4
社会学特講 I	2	社会学特講 II	2	日本史学特講 I	2	日本史学特講 II	2	地域行政特講 III	2
地域行政特講 IV	2	地域キャリア演習	2	卒業研究ゼミナール II	8	地域政策論 I	2	地域政策論 II	2
社会政策	2	経済政策	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学	2	民法 I	2
民法 II	2	地方自治論	2	地方自治法	2	応用ミクロ経済学	2	財政学	2
行政法 I	2	行政法 II	2	刑法	2	地域行政演習 I	2	地域行政演習 II	2
地域行政演習 III	2	地域行政演習 IV	2	地域産業論	2	地域サービス産業論	2	地域流通業論	2
組織マネジメント論	2	戦略マネジメント論	2	マーケティング論	2	地域メディア論	2	祭礼文化論	2
地域社会調査の設計	2	地域社会データの分析	2	質的調査の方法	2	地域農業論	2	地域食産業論	2
地域海洋産業論	2	地域文化論	2	ビジネスシステム論	2	広報・PR論	2	観光・地域ICT論	2
地域社会調査論	2	量的調査の方法	2	社会調査実習	4				

○地域マネジメントコース

(イ) 必修科目

九州地域学	2	地域共創論	2
-------	---	-------	---

(ロ) 選択必修科目

地域行政入門	2	地域マネジメント入門	2	法学概論Ⅰ	2	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	現代情報・メディア論	2
福岡の歴史	2	憲法Ⅰ	2	憲法Ⅱ	2	地域資源論	2		

(ハ) 選択科目

情報リテラシー	2	異文化コミュニケーション論	2	ビジネススキル	2	ロジカルライティング入門	2	クリティカルシンキング	2
観光・地域プロジェクト	2	キャリアデザイン	2	九州とアジアの文化交流	2	国際関係論	2	実践プレゼンテーション	2
グローバル研修	4	アジア経済論	2	地域社会論	2	観光・地域事業プロジェクトⅠ	2	観光・地域事業プロジェクトⅡ	2
地域共創プロジェクトⅠ	2	地域共創プロジェクトⅡ	2	観光・地域振興プロジェクトⅠ	2	観光・地域振興プロジェクトⅡ	2	観光まちづくりプロジェクトⅠ	2
観光まちづくりプロジェクトⅡ	2	特別講座	2	プレゼминаール	2	経済学入門	2	経営学入門	2
マーケティング入門	2	地域共創ゼミナールⅠ	2	地域共創ゼミナールⅡ	2	政治学	2	行政学	2
社会学Ⅰ	2	社会学Ⅱ	2	人文地理学	4	自然地理学	4	日本史	4
地域行政特講Ⅰ	2	地域行政特講Ⅱ	2	就業体験入門	2	卒業研究ゼミナールⅠA	2	卒業研究ゼミナールⅠB	2
倫理学概論	2	地誌学	4	哲学	4	心理学	4	外国史	4
社会学特講Ⅰ	2	社会学特講Ⅱ	2	日本史学特講Ⅰ	2	日本史学特講Ⅱ	2	地域行政特講Ⅲ	2
地域行政特講Ⅳ	2	地域キャリア演習	2	卒業研究ゼミナールⅡ	8	地域政策論Ⅰ	2	地域政策論Ⅱ	2
社会政策	2	経済政策	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学	2	民法Ⅰ	2
民法Ⅱ	2	地方自治論	2	地方自治法	2	応用ミクロ経済学	2	財政学	2
行政法Ⅰ	2	行政法Ⅱ	2	刑法	2	地域行政演習Ⅰ	2	地域行政演習Ⅱ	2
地域行政演習Ⅲ	2	地域行政演習Ⅳ	2	地域産業論	2	地域サービス産業論	2	地域流通業論	2
組織マネジメント論	2	戦略マネジメント論	2	マーケティング論	2	地域メディア論	2	祭礼文化論	2
地域社会調査の設計	2	地域社会データの分析	2	質的調査の方法	2	地域農産業論	2	地域食産業論	2
地域海洋産業論	2	地域文化論	2	ビジネスシステム論	2	広報・PR論	2	観光・地域ICT論	2
地域社会調査論	2	量的調査の方法	2	社会調査実習	4				

○グローバル・フードビジネス・プログラム

(イ) 必修科目

GFBの基礎	4	食と文化	2	GFBの展開・応用	4	フードシステム論	2	GFBの実践	4
食品ビジネス研究Ⅰ	4	食品ビジネス研究Ⅱ	4	卒業論文ゼミナール	8				

(ロ) 選択必修科目

PBL A	2	PBL B	2	PBL C	2	PBL D	2
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(ハ) 選択科目

TOEIC講座A	2	TOEIC講座B	2	TOEIC講座C	2	TOEIC講座D	2	現代の経済	2
特別講義A	4	特別講義B	2	九州の食	2	海外語学研修	4	プロジェクト型インターンシップ	4
フードビジネス論	2	海外フードビジネス研修	4	ファイナンス入門	2	簿記会計の基礎	2	簿記入門	2
基礎数学	2	化学Ⅰ	2	生物学Ⅰ	2	生物学Ⅱ	2	スポーツと開発	2
住居計画	2	マルチメディア概論	2	ソーシャルデザイン概論	2	企画デザイン演習Ⅰ	4	農業経済学	2
流通ビジネス論	2	財務諸表分析	2	マーケティング論	2	地域マーケティング論	2	心理学概論	2
食品科学	2	食品衛生学	2	微生物学	2	6次産業化概論	2	アジア経済論	2
アジア文化論	2	業務系施設インテリア概論	2	住居設備	2	ブランドデザイン演習	4	Webデザイン演習	4
ロジスティクス論	2	マルチメディア論	2	eコマース論	2	マーケティング戦略論	2	観光データサイエンス	2
コミュニティ・ビジネス論	2	地域デジタルマーケティング	2	フードツーリズム論	2	現代アジア事情	2	空間設計概論	2
企画デザイン論	2	九州地域学	2	異文化コミュニケーション論	2	クリティカルシンキング	2	経営学入門	2
マーケティング入門	2	情報リテラシー	2	地域共創論	2	実践プレゼンテーション	2	地域資源論	2
社会学Ⅰ	2	社会学Ⅱ	2	国際関係論	2	地域政策論Ⅰ	2	地域政策論Ⅱ	2
経済政策	2	地域産業論	2	地域サービス産業論	2	地域流通業論	2	地域メディア論	2
社会政策	2	地域農産業論	2	地域海洋産業論	2	地域食産業論	2	戦略マネジメント論	2
ビジネスシステム論	2	広報・PR論	2	地域文化論	2				

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(二)の2 日本語重点教育プログラム科目

日本語読解 I	1	日本語読解 II	1	日本語文法 I	1	日本語文法 II	1	日本語文字・語彙 I	1
日本語文字・語彙 II	1	日本語聴解 I	1	日本語聴解 II	1	日本語ラボ I	1	日本語ラボ II	1
日本語ラボ III	1	日本語ラボ IV	1	日本語ラボ V	1	日本語ラボ VI	1		

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	教育実習 II	2	社会科教育法	4
公民科教育法	4	教科指導法 I (社会)	2	教科指導法 I (公民)	2	教科指導法 II (社会)	2	学校発達心理学	2
同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2		

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第6

理工学部の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 情報科学科

○情報技術コース

(イ) 必修科目

情報リテラシー	2	プログラミング入門	2	プログラミング基礎 I	2	基礎数学	2	プログラミング基礎 II	2
計算機構成論 I	2	データ構造とアルゴリズム I	2	データ構造とアルゴリズム I 演習	2	ハードウェア設計 I	2	ハードウェア設計 II	2
ハードウェア実験 I	2	組込みソフトウェア演習	2	AIプログラミング演習	2	情報科学探求 I	2	情報科学探求 II	2
卒業研究	6								

(ロ) 選択科目

線形代数 I	2	微分積分 I	2	線形代数 II	2	基礎物理	2	融合理工学導入	1
融合理工学基礎 A	1	融合理工学基礎 B	1	デザインエンジニアリング	2	プロダクトデザイン基礎	1	プロダクトデザイン演習	1
人間中心設計	1	WEBデザイン	1	アプリデザイン	1	映像表現	1	メディアアート	1
機械工学概論	2	離散数学 I	2	離散数学 II	2	微分積分 II	2	微分方程式	2
融合理工学応用 A	1	融合理工学応用 B	1	融合プロジェクト I	2	融合プロジェクト II	2	コンピュータグラフィックス基礎	2
情報処理技術 I	2	情報処理技術 II	2	日本語表現法	2	情報理論	2	コンピュータネットワーク	2
物理学	2	電気電子工学概論	2	プログラミング言語とコンパイラ	2	オペレーティングシステム	2	ゲームプログラミング演習	1
計算機構成論 II	2	ニューラルネットワーク入門	2	データ分析演習	2	確率統計	2	初等幾何学	2
離散数学 III	2	離散数学 IV	2	統計学	2	ベクトル解析	2	プロジェクトデザイン管理	4
技術者倫理	2	知的財産権	2	インターンシップ	2	融合プロジェクト III	4	コンピュータグラフィックス応用	2
情報と職業	2	実践情報科学演習	2	ゼミナール・サポーター	2	情報セキュリティ	2	経営情報学	2
情報システム論	2	データ構造とアルゴリズム II	2	オブジェクト指向設計	2	Webプログラミング演習	2	データベース	2
ソフトウェア工学	2	ハードウェア設計 III	2	ハードウェア実験 II	2	人工知能	2	パターン認識と機械学習	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2	マルチメディア	2	代数学 I	2	代数学 II	2	微分幾何学 I	2
微分幾何学 II	2	位相幾何学	2	位相空間論	2	複素解析	2	関数解析学	2
数値解析学	2								

○情報数理コース

(イ) 必修科目

情報リテラシー	2	プログラミング入門	2	プログラミング基礎 I	2	基礎数学	2	線形代数 I	2
微分積分 I	2	プログラミング基礎 II	2	計算機構成論 I	2	離散数学 I	2	離散数学 II	2
データ構造とアルゴリズム I	2	確率統計	2	初等幾何学	2	情報科学探求 I	2	情報科学探求 II	2
卒業研究	6								

(ロ) 選択科目

線形代数 II	2	基礎物理	2	融合理工学導入	1	融合理工学基礎 A	1	融合理工学基礎 B	1
デザインエンジニアリング	2	プロダクトデザイン基礎	1	プロダクトデザイン演習	1	人間中心設計	1	WEBデザイン	1
アプリデザイン	1	映像表現	1	メディアアート	1	機械工学概論	2	微分積分 II	2
微分方程式	2	融合理工学応用 A	1	融合理工学応用 B	1	融合プロジェクト I	2	融合プロジェクト II	2
コンピュータグラフィックス基礎	2	情報処理技術 I	2	情報処理技術 II	2	日本語表現法	2	情報理論	2
コンピュータネットワーク	2	物理学	2	電気電子工学概論	2	データ構造とアルゴリズム I 演習	2	プログラミング言語とコンパイラ	2
オペレーティングシステム	2	ゲームプログラミング演習	1	ハードウェア設計 I	2	ハードウェア設計 II	2	ハードウェア実験 I	2
組込みソフトウェア演習	2	計算機構成論 II	2	AIプログラミング演習	2	ニューラルネットワーク入門	2	データ分析演習	2
離散数学 III	2	離散数学 IV	2	統計学	2	ベクトル解析	2	プロジェクトデザイン管理	4
技術者倫理	2	知的財産権	2	インターンシップ	2	融合プロジェクト III	4	コンピュータグラフィックス応用	2
情報と職業	2	実践情報科学演習	2	ゼミナール・サポーター	2	情報セキュリティ	2	経営情報学	2
情報システム論	2	データ構造とアルゴリズム II	2	オブジェクト指向設計	2	Webプログラミング演習	2	データベース	2
ソフトウェア工学	2	ハードウェア設計 III	2	ハードウェア実験 II	2	人工知能	2	パターン認識と機械学習	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2	マルチメディア	2	代数学 I	2	代数学 II	2	微分幾何学 I	2
微分幾何学 II	2	位相幾何学	2	位相空間論	2	複素解析	2	関数解析学	2
数値解析学	2								

(2) 機械電気創造工学科

(イ) 必修科目

基礎数学	2	基礎物理	2	線形代数 I	2	微分積分 I	2	情報リテラシー	2
技術者倫理	2	機電工学探究	2	卒業研究	6	物理実験	2	機電数学	2
機械四力学基礎	2	電気回路 I	2	CAD基礎	2	物理学	2	機電工学基礎	2
機電プログラミング	2	メカトロニクス	2						

(ロ) 選択科目

線形代数 II	2	プログラミング入門	2	プログラミング基礎 I	2	微分積分 II	2	微分方程式	2
知的財産権	2	インターンシップ	2	融合理工学導入	1	融合理工学基礎A	1	融合理工学基礎B	1
融合理工学応用A	1	融合理工学応用B	1	融合プロジェクト I	2	融合プロジェクト II	2	融合プロジェクト III	4
デザインエンジニアリング	2	プロダクトデザイン基礎	1	プロダクトデザイン演習	1	人間中心設計	1	WEBデザイン	1
アプリデザイン	1	映像表現	1	メディアアート	1	コンピュータグラフィックス基礎	2	コンピュータグラフィックス応用	2
エンジニアスキル	2	工業概論	2	材料加工	2	生物育成	2	メカトロニクス実習	2
電気工事実習	2	職業指導	4	微分積分演習	2	解析幾何学	2	品質管理	2
機械工学実験	2	制御工学	2	AIプログラミング	2	AIリテラシー	2	機械力学	2
材料力学 I	2	材料力学 II	2	エネルギー学 I	2	エネルギー学 II	2	流体力学	2
材料力学 III	2	伝熱工学	2	エネルギー変換工学	2	洋上風力	1	環境エネルギー工学	1
流体機械	1	機械製図	2	3Dモデリング	2	機械加工学	2	機械工作法	2
機械材料	2	機械加工実習	2	機械工学シミュレーション	2	ロボット機構学	2	設計製図	2
機械・ロボット設計	2	電気回路 II	2	電子回路	2	電磁気学 I	2	電気電子基礎実験 I	2
電磁気学 II	2	電気電子計測 I	2	デジタル回路	1	電気電子基礎実験 II	2	電気回路 III	2
通信システム工学	2	電気電子計測 II	2	電磁気学 III	2	電気エネルギー概論	2	電気機器 I	2
電力発生変換工学	2	電力システム工学	2	高電圧工学	2	電気機器 II	2	電気法規及び施設管理	2
パワーエレクトロニクス	2	電気工学実験	2	電子物性 I	2	超電導工学	2	電子物性 II	2
半導体デバイス工学 I	2	半導体デバイス工学 II	2	電子デバイス工学実験	2	集積回路	1	光通信システム工学	2
デジタル信号処理	2								

(3) スマートコミュニケーション工学科

(イ) 必修科目

プロジェクト基礎	2	PBL入門	2	PBL基礎 I	2	PBL基礎 II	2	PBL応用 I	2
PBL応用 II	2	事例研究	2	情報リテラシー	2	基礎数学	2	技術者倫理	2
データサイエンス基礎	2	科学コミュニケーション	2	CAD入門	2	機械工学概論	2	電気工学概論	2
デジタルコミュニケーションプログラミング	2	科学実験	2	品質管理 I	2	電気回路入門	2	シミュレーションプログラミング	2
デジタルコントロール	2	ロボット学入門	2	電子回路入門	2	電気電子計測	2	デジタル回路	2
デザイン思考	2								

(ロ) 選択科目

社会実装ラボ	4	プログラミング入門	2	プログラミング基礎 I	2	基礎物理	2	微分積分 I	2
線形代数 I	2	微分積分 II	2	知的財産権	2	微分方程式	2	線形代数 II	2
インターンシップ	2	コンピュータ概論	2	デジタルものづくり	2	テクニカルライティング	2	AIコミュニケーションツール	2
ロボットデザイン I	2	創造設計演習	2	情報セキュリティ	2	モバイルコミュニケーション	2	ロボットデザイン II	2
科学技術英語	2	グローバルコミュニケーション	2	カーボンニュートラル概論	2	国際社会課題・SDGs	2	電力グリッド工学 I	2
電力グリッド工学 II	2	地球環境学	2	エネルギーマネジメント工学 I	2	エネルギーマネジメント工学 II	2	システムインテグレーション	2
防災工学	2	人間工学	2	データ解析	2	AIアシスタントプログラミング	2	品質管理 II	2
FAシステム	2	応用データ解析	2	力学発展	2	創造グループ基礎演習	2	AIリテラシー	2
創造グループ応用演習	2	現代自然科学	2	平面構成	2	デザイン概論	2	立体構成	2
美術概論	2	ユニバーサルデザイン論	2	色彩学	2	ビジネス開発入門	2	マーケティング入門	2
流通入門	2	ベンチャービジネス論	2	国際経営戦略論	2	技術経営論	2	広告論	2
融合理工学導入	1	融合理工学基礎A	1	融合理工学基礎B	1	融合理工学応用A	1	融合理工学応用B	1
融合プロジェクト I	2	融合プロジェクト II	2	融合プロジェクト III	4	デザインエンジニアリング	2	プロダクトデザイン基礎	1
プロダクトデザイン演習	1	人間中心設計	1	WEBデザイン	1	アプリデザイン	1	映像表現	1
メディアアート	1	コンピュータグラフィックス基礎	2	コンピュータグラフィックス応用	2				

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	教育実習 II	2	数学科教育法	4
情報科教育法	4	工業科教育法	4	技術科教育法	4	教科指導法 I (数学)	2	教科指導法 I (情報)	2
教科指導法 I (工業)	2	教科指導法 I (技術)	2	教科指導法 II (数学)	2	教科指導法 II (技術)	2	学校発達心理学	2
同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2		

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第6の2

生命科学部生命科学科の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

○生命科学コース

(イ) 必修科目

化学実験Ⅰ (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験Ⅰ (コンピュータ活用を含む)	1	生命科学概論	1	化学Ⅰ	2	化学Ⅱ	2
生物学Ⅰ	2	生物学Ⅱ	2	情報科学Ⅰ	2	情報科学Ⅱ	2	環境科学Ⅰ	2
生命科学実験	2	生化学Ⅰ	2	生化学Ⅱ	2	分子生物学Ⅰ	2	分子生物学Ⅱ	2
細胞生物学	2	有機化学Ⅰ	2	化学実験Ⅱ (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験Ⅱ (コンピュータ活用を含む)	1	ブレ卒研実験	2
ブレ卒研ゼミナール	2	卒業研究	6						

(ロ) 選択必修科目

動物学	2	微生物学	2	化粧品基礎科学	2	遺伝子工学	2	細胞工学	2
薬学Ⅰ	2	薬学Ⅱ	2	化粧品機能学	2	生命情報科学	2	生体工学	2
医用工学	2	免疫学	2						

(ハ) 選択科目

地球科学	2	基礎数学	2	基礎物理	2	物理学	2	植物学	2
分析化学Ⅰ	2	物理化学Ⅰ	2	無機化学Ⅰ	2	食品科学	2	食品衛生学	2
遺伝学	2	水産学Ⅰ	2	医学概論	2	化学と安全	2	化学数学	2
人工知能概論	2	地球科学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	物理実験 (コンピュータ活用を含む)	2	微積分学	2	化粧品製剤学	2
食品機能学	2	栄養化学	2	食品・バイオ分析学	2	環境科学Ⅱ	2	実践キャリア演習	1
生命科学学外実習	2	プログラミング入門	2						

○応用生物学コース

(イ) 必修科目

化学実験Ⅰ (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験Ⅰ (コンピュータ活用を含む)	1	生命科学概論	1	化学Ⅰ	2	化学Ⅱ	2
生物学Ⅰ	2	生物学Ⅱ	2	情報科学Ⅰ	2	情報科学Ⅱ	2	環境科学Ⅰ	2
植物学	2	微生物学	2	水産学Ⅰ	2	生化学Ⅰ	2	分子生物学Ⅰ	2
有機化学Ⅰ	2	化学実験Ⅱ (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験Ⅱ (コンピュータ活用を含む)	1	応用生物学実験・実習	2	ブレ卒研実験	2
ブレ卒研ゼミナール	2	卒業研究	6						

(ロ) 選択必修科目

動物学	2	生化学Ⅱ	2	分子生物学Ⅱ	2	細胞生物学	2	遺伝子工学	2
発酵学	2	細胞工学	2	食品・バイオ分析学	2	生命情報科学	2	水産学Ⅱ	2
免疫学	2	植物生産科学	2						

(ハ) 選択科目

地球科学	2	基礎数学	2	基礎物理	2	物理学	2	食品衛生学	2
食品加工・保蔵学	2	6次産業化概論	2	化粧品基礎科学	2	食品科学	2	遺伝学	2
医学概論	2	化学と安全	2	化学数学	2	人工知能概論	2	地球科学実験 (コンピュータ活用を含む)	2
物理実験 (コンピュータ活用を含む)	2	微積分学	2	栄養化学	2	薬学Ⅰ	2	食品機能学	2
食品開発論	2	HACCP論	2	食品微生物制御学	2	環境科学Ⅱ	2	実践キャリア演習	1
生命科学学外実習	2	プログラミング入門	2						

○食品科学コース

(イ) 必修科目

化学実験Ⅰ (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験Ⅰ (コンピュータ活用を含む)	1	生命科学概論	1	化学Ⅰ	2	化学Ⅱ	2
生物学Ⅰ	2	生物学Ⅱ	2	情報科学Ⅰ	2	情報科学Ⅱ	2	環境科学Ⅰ	2
食品科学	2	食品衛生学	2	食品加工・保蔵学	2	微生物学	2	有機化学Ⅰ	2
化学実験Ⅱ (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験Ⅱ (コンピュータ活用を含む)	1	食品科学実験・実習	2	ブレ卒研実験	2	食品・バイオ分析学	2
ブレ卒研ゼミナール	2	卒業研究	6						

(ロ) 選択必修科目

6次産業化概論	2	植物学	2	水産学Ⅰ	2	生化学Ⅰ	2	食品機能学	2
栄養化学	2	食品開発論	2	食品製造学	2	発酵学	2	食品微生物制御学	2
植物生産科学	2	HACCP論	2						

(ハ) 選択科目

地球科学	2	基礎数学	2	基礎物理	2	物理学	2	生化学Ⅱ	2
分子生物学Ⅰ	2	分子生物学Ⅱ	2	細胞生物学	2	化粧品基礎科学	2	遺伝学	2
動物学	2	医学概論	2	化学と安全	2	化学数学	2	人工知能概論	2
地球科学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	物理実験 (コンピュータ活用を含む)	2	微積分学	2	遺伝子工学	2	免疫学	2
生命情報科学	2	水産学Ⅱ	2	薬学Ⅰ	2	環境科学Ⅱ	2	実践キャリア演習	1
生命科学学外実習	2	プログラミング入門	2						

○応用化学コース

(イ) 必修科目

化学実験 I (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験 I (コンピュータ活用を含む)	1	生命科学概論	1	化学 I	2	化学 II	2
生物学 I	2	生物学 II	2	情報科学 I	2	情報科学 II	2	環境科学 I	2
有機化学 I	2	無機化学 I	2	物理化学 I	2	分析化学 I	2	高分子化学	2
生化学 I	2	化学実験 II (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験 II (コンピュータ活用を含む)	1	プレ卒研実験	2	応用化学実験	2
プレ卒研ゼミナール	2	卒業研究	6						

(ロ) 選択必修科目

有機化学 II	2	無機化学 II	2	物理化学 II	2	分析化学 II	2	生化学 II	2
有機化学 III	2	有機機能材料	2	無機機能材料	2	機器分析	2	複合材料	2
薬学 I	2	薬学 II	2						

(ハ) 選択科目

地球科学	2	基礎数学	2	基礎物理	2	物理学	2	食品科学	2
分子生物学 I	2	分子生物学 II	2	微生物学	2	植物学	2	化粧品基礎科学	2
食品衛生学	2	医学概論	2	化学と安全	2	化学数学	2	人口知能概論	2
地球科学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	物理実験 (コンピュータ活用を含む)	2	微積分学	2	化粧品製剤学	2	化粧品機能学	2
生体工学	2	医用工学	2	食品機能学	2	環境科学 II	2	実践キャリア演習	1
生命科学学外実習	2	プログラミング入門	2						

○グローバル・フードビジネス・プログラム

(イ) 必修科目

GFBの基礎	4	食と文化	2	化学 I	2	化学実験 I (コンピュータ活用を含む)	1	生物学実験 I (コンピュータ活用を含む)	1
生物学 I	2	GFBの展開・応用	4	フードシステム論	2	GFBの実践	4	食品ビジネス研究 I	4
食品ビジネス研究 II	4	卒業論文ゼミナール	8						

(ロ) 選択必修科目

PBL A	2	PBL B	2	PBL C	2	PBL D	2
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(ハ) 選択科目

TOEIC講座A	2	TOEIC講座B	2	TOEIC講座C	2	TOEIC講座D	2	プロジェクト型インターンシップ	4
現代の経済	2	特別講義A	4	特別講義B	2	九州の食	2	海外語学研修	4
フードビジネス論	2	海外フードビジネス研修	4	ファイナンス入門	2	簿記会計の基礎	2	簿記入門	2
経営学入門	2	マーケティング入門	2	情報リテラシー	2	農業経済学	2	流通ビジネス論	2
財務諸表分析	2	マーケティング論	2	地域マーケティング論	2	心理学概論	2	ロジスティクス論	2
マルチメディア論	2	eコマース論	2	マーケティング戦略論	2	観光データサイエンス	2	広告実践論	2
ビジネスシステム論	2	コミュニティ・ビジネス論	2	地域デジタルマーケティング	2	基礎数学	2	地域食産業論	2
地域海洋産業論	2	フードツーリズム論	2	クリティカルシンキング	2	異文化コミュニケーション論	2	スポーツと開発	2
アジア経済論	2	実践プレゼンテーション	2	国際関係論	2	アジア文化論	2	現代アジア事情	2
住居計画	2	マルチメディア概論	2	ソーシャルデザイン概論	2	企画デザイン演習 I	4	業務系施設インテリア概論	2
住居設備	2	ブランドデザイン演習	4	Webデザイン演習	4	空間設計概論	2	企画デザイン論	2
生物学 II	2	化学 II	2	食品科学	2	食品衛生学	2	微生物学	2
6次産業化概論	2	食品加工・保蔵学	2	植物学	2	水産学 I	2	化学実験 II (コンピュータ活用を含む)	1
生物学実験 II (コンピュータ活用を含む)	1	食品開発論	2	食品製造学	2	食品科学実験・実習	2	食品・バイオ分析学	2
食品機能学	2	食品微生物制御学	2	植物生産科学	2	発酵学	2	栄養化学	2
水産学 II	2								

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	教育実習 II	2	理科教育法	4
教科指導法 I (理科)	2	教科指導法 II (理科)	2	学校発達心理学	2	同和教育論	2	教育社会学	2
教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2						

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第6の3

建築都市工学部の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 建築学科

(イ) 必修科目

基礎数学	2	基礎物理	2	建築都市入門	2	建築数学 I	2	物理	2
物理演習	2	日本建築史	2	建築設計製図 I	2	建築設計製図 II	2	住宅計画	2
熱と空気的环境論	2	建築構法	2	建築材料	2	建築の力学 I	1	建築の力学 I 演習	1
建築の力学 II	1	建築の力学 II 演習	1	建築の力学 III	1	建築の力学 III 演習	1	建築の力学 IV	1
建築の力学 IV 演習	1	建築数学 II	2	建築汎論 I	2	建築汎論 II	2	建築設計製図 III	2
建築設計製図 IV	2	地域施設計画	2	西洋建築史	2	音と光の環境論	2	建築設備計画	2
建築の力学 V	1	建築の力学 V 演習	1	建築の力学 VI	1	建築の力学 VI 演習	1	鉄筋コンクリート構造	2
鉄骨構造	2	建築法規	2	建築学特論 I	2	建築学特論 II	2	建築設計製図 V	2
建築施工	2	卒業研究	6						

(ロ) 選択科目

工業概論	2	PBLプログラム I	2	PBLプログラム II	2	建築デザイン	2	建築デジタル演習	2
建築リユースデザイン論	2	建築構造計画 I	1	建築製図 I	2	基礎測量学	2	グリーンインフラ論	2
プログラミング入門	2	インターンシップ	2	職業指導	4	防災工学 I	1	防災工学 II	1
PBLプログラム III	2	PBLプログラム IV	2	応用建築設計製図	2	都市計画	2	近代建築史	2
保存修景計画	2	地域ストック活用論	2	空間構成演習	2	植栽計画	1	照明計画	1
建築設備設計	2	建築環境工学演習 I	2	建築環境工学演習 II	1	環境計画特論	1	建築環境工学実験	2
構造設計実習	2	材料構造実験	2	建築構造計画 II	1	建築製図 II	2		

(2) 住居・インテリア学科

(イ) 必修科目

基礎数学	2	基礎物理	2	建築都市入門	2	空間設計基礎実習	2	空間設計概論	2
住居概論	2	住居設計実習	2	住居計画	2	業務系施設インテリア概論	2	実測・製図実習	2
設計支援ソフト実習 I	2	住居数理	2	家具・プロダクト概論	2	住宅構法概論	2	建築材料	2
住居環境入門	2	業務系施設インテリア設計実習	2	業務系施設インテリア計画	2	住居系複合施設インテリア設計実習	2	住居系複合施設インテリア計画	2
建築法規	2	近代建築史	2	色彩・照明論	2	建築・施設計画	2	構造力学 I	2
構造力学 II	2	住居設備	2	都市計画	2	建築施工	2	各種構造	2
卒業研究	6								

(ロ) 選択必修科目

設計基幹スタジオ実習 I	2	設計基幹スタジオ実習 II	2	空間デザイン特論 I	4	空間デザイン特論 II	4	商環境デザイン特論 I	4
商環境デザイン特論 II	4	住生活デザイン特論 I	4	住生活デザイン特論 II	4	再生デザイン特論 I	4	再生デザイン特論 II	4
基盤スタジオ実習 I	2	基盤スタジオ実習 II	2	家具空間デザイン特論 I	4	家具空間デザイン特論 II	4	地域貢献実践特論 I	4
地域貢献実践特論 II	4	居住環境デザイン特論 I	4	居住環境デザイン特論 II	4	サステナブル構造特論 I	4	サステナブル構造特論 II	4
総合プログラム実習 I	2	総合プログラム実習 II	2	総合プログラム特論 I	4	総合プログラム特論 II	4		

(ハ) 選択科目

情報処理入門	2	フィールドツアー実習	2	工業概論	2	住居・インテリアキャリア形成	2	福祉住環境	2
設計支援ソフト実習 II	2	地域づくり論	2	デザインサーベイ演習	2	建築史	2	職業指導	4
プログラミング入門	2	建築デザイン	2	保存修景計画	2	基礎測量学	2	グリーンインフラ論	2
建築製図 I	2	プレゼンテーション演習	2	インテリア製図	2	インテリアコーディネート論	2	住宅エクステリア論	2
不動産学入門	2	照明ライティング論	2	室内環境デザイン論	2	建築製図 II	2		

(3)都市デザイン工学科

(イ)必修科目

基礎数学	2	基礎物理	2	基礎測量学	2	建築都市入門	2	グリーンインフラ論	2
構造力学Ⅰ	2	地盤工学Ⅰ	2	水理学Ⅰ	2	測量学実習	2	建設材料工学	2
土木設計製図Ⅰ	2	基礎環境学	2	土質実験	1	土質材料実験	1	構造力学Ⅱ	2
地盤工学Ⅱ	2	水理学Ⅱ	2	建設CAD演習	2	まちづくり学	2	景観デザイン	2
環境水理実習	2	応用ゼミナール	2	技術者倫理	2	コンクリート構造工学Ⅰ	2	卒業研究	6
卒業実習	4								

(ロ)選択科目

情報処理演習	2	植物学	2	工業概論	2	構造力学演習Ⅰ	2	地盤工学演習Ⅰ	2
水理学演習Ⅰ	2	建設材料工学演習	2	応用測量学	2	建築設計製図	2	キャリア探求	2
土木設計製図Ⅱ	2	地域防災学Ⅰ	2	地域防災学Ⅱ	2	まちづくり学演習	2	生態学	2
応用生態学	2	プログラミング入門	2	インターンシップ	2	建築製図Ⅰ	2	建築デザイン	2
保存修景計画	2	職業指導	4	河川工学	2	土木統計学	2	構造力学演習Ⅱ	2
地盤工学演習Ⅱ	2	水理学演習Ⅱ	2	構造力学Ⅲ	2	建築生産	2	建築法規	2
コンクリート構造工学Ⅱ	2	土木デザイン実習	2	橋梁工学	2	道路工学	2	水環境工学	2
地域防災学演習	2	景観デザイン演習	2	植物生態学演習	2	緑化学	2	環境法規	2
建築製図Ⅱ	2	施工管理学	2	耐震工学	2	海岸港湾工学	2		

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎A	1	アカデミック日本語基礎B	1	アカデミック日本語Ⅰ(読む・書く)	1	アカデミック日本語Ⅱ(読む・書く)	1	アカデミック日本語Ⅰ(聞く・話す)	1
アカデミック日本語Ⅱ(聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語(読む・書く)	1	実践アカデミック日本語(聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史ⅠA	1	日本の歴史ⅠB	1	日本の歴史ⅡA	1	日本の歴史ⅡB	1	日本の文化ⅠA	1
日本の文化ⅠB	1	日本の文化ⅡA	1	日本の文化ⅡB	1	日本の政治経済ⅠA	1	日本の政治経済ⅠB	1
日本の政治経済ⅡA	1	日本の政治経済ⅡB	1	一般日本事情ⅠA	1	一般日本事情ⅠB	1	一般日本事情ⅡA	1
一般日本事情ⅡB	1								

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習Ⅰ	2	工業科教育法	4	教科指導法Ⅰ(工業)	2
学校発達心理学	2	同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第7

芸術学部の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 芸術表現学科

○美術専攻

(イ) 必修科目

絵画・立体造形概論	2	西洋美術史	2	日本美術史	2	芸術表現演習	2	デッサン	2
絵画基礎	2	日本画基礎	2	立体造形基礎	2	アーティスト実践論	2	美術 I	4
美術 II	4	美術実践 I	2	美術実践 II	2	美術 III	4	美術 IV	4
アーティスト実践演習	2	美術実践 III	2	美術実践 IV	2	卒業研究 I	4	卒業研究 II	4
美術実践 V	2	美術実践 VI	2						

(ロ) 選択必修科目

色彩学	2	絵画演習	2	塑造演習	2	デッサン基礎演習	2	日本画実習	2
デッサン実習	2	絵画実習	2	西洋絵画史	2	写真演習	2	フィギュア演習	2
ペーパークラフト演習	2	CG演習A	2	CG演習B	2	材料実習	2	ドローイング基礎実習	2
版画基礎実習	2	溶接実習	2	インスタレーション実習	2				

(ハ) 選択科目

メディア芸術概論	2	美術概論	2	QUEST演習	2	コンピュータ基礎演習	2	図学製図基礎演習	2
平面構成	2	立体構成	2	アニメーション芸術論	2	サウンド芸術概論	2	映像芸術表現論	2
工芸史	2	サウンドアート演習	2	学外演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	マテリアルデザイン演習	2
マンガ芸術論	2	メディアアート表現論	2	キャリア開発A	2	キャリア開発B	2	プロダクトデザイン基礎演習	2

○メディア芸術専攻

(イ) 必修科目

メディア芸術概論	2	芸術表現演習	2	映像表現実習	2	デジタル表現実習	2	デジタルペイント実習	2
アニメーション芸術論	2	映像芸術表現論	2	メディアアート表現論	2	マンガ芸術論	2	メディア芸術演習A	4
メディア芸術演習B	4	メディア芸術演習C	4	メディア芸術演習D	4	メディア芸術演習E	4	メディア芸術応用演習 I	4
メディア芸術応用演習 II	4	プレゼンテーションデザイン実習	2	卒業研究 I	4	卒業研究 II	4		

(ロ) 選択必修科目

デザイン史	2	視覚心理学	2	美術概論	2	コンピュータ基礎演習	2	デッサン	2
グラフィックデザイン	2	サウンド芸術概論	2	色彩学	2	サウンドアート演習	2	企画コンセプト演習	2
映像芸術制作実習	2	アニメーション制作実習	2	2Dアニメーション制作実習	2	メディア芸術特別論	2	メディア芸術特別実習	2
インスタレーション実習	2	ゲーム開発実習	2	サウンドアート実習	2				

(ハ) 選択科目

コンピュータ概論	2	西洋美術史	2	日本美術史	2	絵画・立体造形概論	2	QUEST演習	2
デッサン基礎演習	2	絵画演習	2	塑造演習	2	平面構成	2	立体構成	2
特撮・VFX概論	2	現代写真論	2	映像史	2	キャリア開発A	2	フィギュア演習	2
学外演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	写真演習	2	ドローイング基礎実習	2	意匠・商標法	2
キャリア開発B	2								

(2) 写真・映像メディア学科

○写真専攻

(イ) 必修科目

写真学概論	2	写真史	2	写真・映像メディア演習	2	映像表現実習 I	2	写真基礎実習 I	2
写真基礎実習 II	2	写真芸術論	2	写真制作論B	2	写真表現実習 A	2	写真表現実習 B	2
写真表現実習 C	2	写真表現実習 D	2	制作実習 A	2	制作実習 B	2	写真制作基礎実習 B	2
ゼミナール I	4	ゼミナール II	4	写真制作実習 A	2	写真制作実習 B	2	写真制作実習 C	2
写真制作実習 D	2	写真制作実習 E	2	卒業研究 I	4	卒業研究 II	4		

(ロ) 選択必修科目

写真表現論	2	CG演習A	2	CG演習B	2	デッサン	2	メディア基礎実習	2
写真基礎実習 A	2	写真基礎実習 B	2	平面構成	2	立体構成	2	写真制作論 A	2
写真制作論 C	2	写真制作基礎実習 A	2	写真創作演習 A	2	写真創作演習 B	2		

(ハ) 選択科目

マルチメディア概論	2	映像メディア概論	2	映像論	2	色彩学	2	西洋美術史	2
日本美術史	2	美術概論	2	QUEST演習	2	3DCG演習	2	コンピュータ基礎演習	2
デッサン基礎演習	2	絵画演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	塑造演習	2	写真制作論 D	2
映像史	2	現代写真論	2	サウンド芸術概論	2	サウンドアート演習	2	学外演習	2
写真クリエイティブ実習 A	2	写真クリエイティブ実習 B	2	写真クリエイティブ実習 C	2	写真クリエイティブ実習 D	2	写真作家論 A	2
写真作家論 B	2	キャリア開発 A	2	キャリア開発 B	2	映像表現実習 II	2		

○映像メディア専攻

(イ)必修科目

マルチメディア概論	2	映像メディア概論	2	3DCG演習	2	クリエイティブ演習A	2	写真・映像メディア演習	2
メディア基礎実習	2	映像基礎実習A	2	映像基礎実習B	2	インストール実習A	2	デジタルコンテンツデザイン	2
映像史	2	音響デザイン	2	番組制作概論	2	クリエイティブ演習B I	1	クリエイティブ演習B II	1
アニメーション実習	2	映像基礎実習C	2	映像基礎実習D	2	インストール実習B	2	広告マーケティング論	2
アドバタイジング	2	ゼミナール I	4	ゼミナール II	4	卒業研究 I	4	卒業研究 II	4

(ロ)選択必修科目

写真表現論	2	CG演習A	2	CG演習B	2	デッサン	2	平面構成	2
立体構成	2	サウンド芸術概論	2	特撮・VFX概論	2	メタバースコンテンツ演習	2	3DCG実習	2
音響基礎実習	2	演技基礎実習	2	特撮・VFX実習	2	番組制作実習	2	シナリオ演習	2
3DCGモデリング演習	2	映像演出実習	2						

(ハ)選択科目

映像論	2	視覚心理学	2	色彩学	2	写真学概論	2	写真史	2
西洋美術史	2	美術概論	2	QUEST演習	2	コンピュータ基礎演習	2	デッサン基礎演習	2
塑造演習	2	アニメーション芸術論	2	映像芸術表現論	2	現代写真論	2	写真制作論A	2
サウンドアート演習	2	学外演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	メディアアート表現論	2	マンガ芸術論	2
日本美術史	2	キャリア開発A	2	キャリア開発B	2	絵画演習	2	サウンドアート実習	2

(3) ビジュアルデザイン学科

○グラフィックデザイン専攻

(イ)必修科目

グラフィックデザイン概論	2	色彩学	2	グラフィックデザイン演習 I	4	ビジュアルデザイン演習	2	図学製図基礎演習	2
タイポグラフィ実習 I	2	デッサン	2	平面構成	2	立体構成	2	グラフィックデザイン印刷演習	4
グラフィックデザイン演習 II	4	グラフィックデザイン演習 III	4	グラフィックデザイン写真演習	4	グラフィックデザイン演習 IV	4	グラフィックデザイン特別演習	4
デザイン研究	4	卒業研究 I	4	卒業研究 II	4				

(ロ)選択必修科目

ビジュアルデザイン史	2	グラフィックデザイン基礎演習	2	パッケージデザイン演習	4	グラフィックデザイン表現実習A	2	グラフィックデザイン表現実習B	2
グラフィックデザイン表現実習C	2	タイポグラフィ実習 II	2	プロモーション・企画実習	2	Webデザイン演習	4	アドバタイジングデザイン演習	4
エディトリアルデザイン演習	4	ダイアグラムデザイン演習	4	特別実習	2				

(ハ)選択科目

工芸史	2	視覚心理学	2	西洋美術史	2	美術概論	2	イラストレーションデザイン概論	2
QUEST演習	2	コンピュータ基礎演習	2	デッサン基礎演習	2	色彩計画演習A	2	カリグラフィ	2
サウンド芸術概論	2	日本美術史	2	サウンドデザイン演習	2	映像演習	2	学外演習	2
工芸デザイン基礎演習	2	意匠・商標法	2	キャリア開発A	2	キャリア開発B	2	プロダクトデザイン基礎演習	2
絵画演習	2	塑造演習	2						

○イラストレーションデザイン専攻

(イ)必修科目

イラストレーションデザイン概論	2	色彩学	2	イラストレーションデザイン演習 I	4	イラストレーションデザイン基礎演習	4	ビジュアルデザイン演習	2
色彩計画演習A	2	デッサン	2	平面構成	2	立体構成	2	イラストレーションデザイン演習 II	4
イラストレーションデザイン演習 III	4	CG実習A	2	CG実習B	2	イラストレーションデザイン演習 IV	4	イラストレーションデザイン特別演習	4
デザインプレ研究	2	デザイン研究	4	卒業研究 I	4	卒業研究 II	4		

(ロ)選択必修科目

ビジュアルデザイン史	2	視覚心理学	2	キャラクターデザイン実習	2	Webデザイン演習	4	イラストレーションデザイン写真演習	4
映像演習	2	絵画演習	2	エディトリアル演習	2	ドローイング基礎実習	2	パッケージデザイン実習	2
水墨イラストレーション実習	2	コミックイラストレーション実習	2	ファッションイラスト実習	2	マンガ実習	2		

(ハ)選択科目

工芸史	2	生産造形デザイン概論	2	西洋美術史	2	美術概論	2	グラフィックデザイン概論	2
QUEST演習	2	コンピュータ基礎演習	2	デッサン基礎演習	2	図学製図基礎演習	2	カリグラフィ	2
3D実習	2	サウンド芸術概論	2	日本美術史	2	キャリア開発A	2	サウンドデザイン演習	2
デザインの現場	2	フィギュア演習	2	学外演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	塑造演習	2
マテリアルデザイン演習	2	メディア芸術概論	2	意匠・商標法	2	キャリア開発B	2	プロダクトデザイン基礎演習	2
版画基礎実習	2	イラストレーション実践演習	4						

(4) 生活環境デザイン学科

○生産造形デザイン専攻

(イ)必修科目

生産造形デザイン概論	2	生活環境デザイン演習	2	生産造形デザイン演習ⅠA	2	生産造形デザイン演習ⅠB	4	デッサン	2
立体構成	2	平面構成	2	生産造形デザイン演習ⅡA	4	生産造形デザイン演習ⅡB	4	生産造形デザイン演習ⅡC	4
生産造形デザイン演習ⅡD	4	生産造形デザイン演習ⅢA	4	生産造形デザイン演習ⅢB	4	生産造形デザイン演習ⅢC	4	生産造形デザイン演習ⅢD	4
卒業研究Ⅰ	4	卒業研究Ⅱ	4						

(ロ)選択必修科目

工芸史	2	デザイン史	2	工芸デザイン基礎演習	2	図学製図A	2	図学製図B	2
材料加工実習A	1	材料加工実習B	1	材料加工実習C	1	材料加工実習D	1	材料加工実習E	1
テキスタイル実習A	2	プロダクトデザイン実践論	2	CG演習A	2	CG演習B	2	マテリアルデザイン演習	2
生産デザイン表示図法	2	テキスタイル実習B	2	漆芸実習A	2	漆芸実習B	2	生産造形デザイン特別実習A	2
コンセプト・クリエイティング演習	2	生産造形デザイン特別実習B	2						

(ハ)選択科目

色彩学	2	美術概論	2	西洋美術史	2	QUEST演習	2	コンピュータ基礎演習	2
デッサン基礎演習	2	塑造演習	2	ファッションデザイン論	2	日本美術史	2	インテリア建築デザイン論	2
サウンド芸術概論	2	人間工学概論	2	キャリア開発A	2	サウンドデザイン演習	2	学外演習	2
写真演習	2	絵画演習	2	色彩計画演習B	2	クラフトデザイン実習	2	溶接実習	2
意匠・商標法	2	キャリア開発B	2						

○空間演出デザイン専攻

(イ)必修科目

空間演出デザイン概論	2	生活環境デザイン演習	2	空間演出デザイン演習ⅠA	2	空間演出デザイン演習ⅠB	4	デッサン	2
平面構成	2	立体構成	2	空間演出デザイン演習ⅡA	4	空間演出デザイン演習ⅡB	4	空間演出デザイン演習ⅡC	4
空間演出デザイン演習ⅡD	4	空間演出デザイン演習ⅢA	4	空間演出デザイン演習ⅢB	4	空間演出デザイン演習ⅢC	4	空間演出デザイン演習ⅢD	4
卒業研究Ⅰ	4	卒業研究Ⅱ	4						

(ロ)選択必修科目

デザイン史	2	材料加工実習A	1	材料加工実習C	1	製図実習A	2	テキスタイル実習A	2
インテリア建築デザイン論	2	ファッションデザイン論	2	舞台空間演出論	2	色彩計画演習B	2	マテリアルデザイン演習	2
ファッションイラスト実習	2	空間演出表現実習Ⅰ	2	製図実習B	2	テキスタイル実習B	2	照明計画演習	4
コンセプト・クリエイティング演習	2	空間演出表現実習Ⅱ	2						

(ハ)選択科目

コンピュータ概論	2	色彩学	2	西洋美術史	2	美術概論	2	生産造形デザイン概論	2
QUEST演習	2	コンピュータ基礎演習	2	デッサン基礎演習	2	塑造演習	2	材料加工実習B	1
材料加工実習D	1	材料加工実習E	1	サウンド芸術概論	2	工芸史	2	日本美術史	2
CG演習A	2	CG演習B	2	キャリア開発A	2	サウンドデザイン演習	2	絵画演習	2
学外演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	写真演習	2	溶接実習	2	キャリア開発B	2
形態構造演習	4	建築生産論	2	建築法規	2	建築設計演習	4		

(5) ソーシャルデザイン学科

○情報デザイン専攻

(イ)必修科目

ソーシャルデザイン概論	2	デザイン史	2	ソーシャルデザイン演習	2	ソーシャルデザイン応用演習	2	情報デザイン演習Ⅰ	4
視覚デザイン演習	4	情報デザイン論	2	Webデザイン演習	4	デザインの現場	2	情報デザイン演習ⅡA	4
情報デザイン演習ⅡB	4	情報デザイン演習ⅢA	4	情報デザイン演習ⅢB	4	情報デザイン研究Ⅰ	4	情報デザイン研究Ⅱ	4
卒業研究Ⅰ	4	卒業研究Ⅱ	4						

(ロ)選択必修科目

コンピュータ概論	2	マルチメディア概論	2	西洋美術史	2	日本美術史	2	美術概論	2
コンピュータ基礎演習	2	企画デザイン論	2	言葉と編集	2	地域文化論	2	写真芸術論	2
映像芸術表現論	2	ブランドデザイン演習	4	地域ブランド企画演習	4	デジタルプラットフォーム	2	Webデザイン応用演習	2
データサイエンス	2	3DCG演習	2						

(ハ)選択科目

色彩学	2	イラストレーションデザイン概論	2	空間演出デザイン概論	2	QUEST演習	2	デッサン	2
平面構成	2	立体構成	2	視覚心理学	2	サウンド芸術概論	2	キャリア開発A	2
学外演習	2	絵画演習	2	塑造演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	写真演習	2
映像演習	2	サウンドデザイン演習	2	意匠・商標法	2	メディアアート表現論	2	キャリア開発B	2
パッケージデザイン実習	2								

○企画デザイン専攻

(イ)必修科目

ソーシャルデザイン概論	2	デザイン史	2	ソーシャルデザイン演習	2	ソーシャルデザイン応用演習	2	企画デザイン演習 I	4
企画デザイン論	2	ブランドデザイン演習	4	地域ブランド企画演習	4	デザインの現場	2	企画デザイン演習 II A	4
企画デザイン演習 II B	4	企画デザイン演習 III A	4	企画デザイン演習 III B	4	企画デザイン研究 I	4	企画デザイン研究 II	4
卒業研究 I	4	卒業研究 II	4						

(ロ)選択必修科目

コンピュータ概論	2	マルチメディア概論	2	西洋美術史	2	日本美術史	2	美術概論	2
コンピュータ基礎演習	2	視覚デザイン演習	4	情報デザイン論	2	言葉と編集	2	地域文化論	2
工芸史	2	生産造形デザイン概論	2	Webデザイン演習	4	デジタルプラットフォーム	2	データサイエンス	2
3DCG演習	2	パッケージデザイン実習	2						

(ハ)選択科目

色彩学	2	イラストレーションデザイン概論	2	空間演出デザイン概論	2	QUEST演習	2	デッサン	2
平面構成	2	立体構成	2	視覚心理学	2	サウンド芸術概論	2	キャリア開発A	2
学外演習	2	絵画演習	2	塑造演習	2	サウンドデザイン演習	2	図学製図基礎演習	2
映像演習	2	写真演習	2	工芸デザイン基礎演習	2	意匠・商標法	2	キャリア開発B	2
プロダクトデザイン基礎演習	2								

○グローバル・フードビジネス・プログラム

(イ)必修科目

GFBの基礎	4	食と文化	2	GFBの展開・応用	4	フードシステム論	2	GFBの実践	4
食品ビジネス研究 I	4	食品ビジネス研究 II	4	卒業論文ゼミナール	8				

(ロ)選択必修科目

PBL A	2	PBL B	2	PBL C	2	PBL D	2
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(ハ)選択科目

TOEIC講座A	2	TOEIC講座B	2	TOEIC講座C	2	TOEIC講座D	2	プロジェクト型インターンシップ	4
現代の経済	2	特別講義A	4	特別講義B	2	九州の食	2	海外語学研修	4
フードビジネス論	2	海外フードビジネス研修	4	ファイナンス入門	2	簿記会計の基礎	2	簿記入門	2
経営学入門	2	マーケティング入門	2	情報リテラシー	2	農業経済学	2	流通ビジネス論	2
財務諸表分析	2	マーケティング論	2	地域マーケティング論	2	心理学概論	2	ロジスティクス論	2
マルチメディア論	2	eコマース論	2	マーケティング戦略論	2	観光データサイエンス	2	広告実践論	2
ビジネスシステム論	2	コミュニティ・ビジネス論	2	地域デジタルマーケティング	2	基礎数学	2	化学 I	2
生物学 I	2	生物学 II	2	食品科学	2	食品衛生学	2	微生物学	2
6次産業化概論	2	地域食産業論	2	地域海洋産業論	2	フードツーリズム論	2	クリエイティブシンキング	2
異文化コミュニケーション論	2	スポーツと開発	2	アジア経済論	2	実践プレゼンテーション	2	国際関係論	2
アジア文化論	2	現代アジア事情	2	住居計画	2	業務系施設インテリア概論	2	住居設備	2
空間設計概論	2	ソーシャルデザイン概論	2	デザイン史	2	美術概論	2	西洋美術史	2
日本美術史	2	マルチメディア概論	2	色彩学	2	ソーシャルデザイン演習	2	企画デザイン演習 I	4
視覚デザイン演習	4	平面構成	2	立体構成	2	デッサン	2	企画デザイン論	2
情報デザイン論	2	地域文化論	2	ソーシャルデザイン応用演習	2	企画デザイン演習 II A	4	企画デザイン演習 II B	4
企画デザイン演習 III A	4	企画デザイン演習 III B	4	ブランドデザイン演習	4	Webデザイン演習	4	デザインの現場	2
データサイエンス	2	パッケージデザイン実習	2	意匠・商標法	2				

(二)留学生に関する科目

(イ)日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ)日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(三)教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	教育実習 II	2	美術科教育法	4
工芸科教育法	4	教科指導法 I (美術)	2	教科指導法 I (工芸)	2	教科指導法 II (美術)	2	学校発達心理学	2
同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2		

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第8

国際文化学部の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 国際文化学科

(イ) 必修科目

日本文化入門	2	アジア文化入門	2	欧米文化入門	2	ゼミナール I	2	4Cイングリッシュ I	1
4Cイングリッシュ II	1	ゼミナール II	4	海外研修	4	外国語演習 A	2	ゼミナール III	4
ゼミナール IV	4								

(ロ) 選択必修科目

海外フィールドスタディ	2	プロジェクト演習	2	外国語演習 B	2	海外留学	8
-------------	---	----------	---	---------	---	------	---

(ハ) 選択科目

哲学	2	言語学	2	歴史学	2	民俗学	2	古典に学ぶ	2
国際関係論	2	国際協力論	2	日本語教育文法論	2	日本語教育学入門	2	日本語教授法	2
日本語教育授業研究	2	日本語教育実習	2	DXイングリッシュ	1	Gradedリーディング	1	ポップカルチャー英語	2
ベーシック英語表現	2	ビジネス英語ボキャブラリ	2	Communicative Writing A	2	Media Communication	2	Communicative Language Learning I	2
Communicative Language Learning II	2	Intercultural Communication	2	英語の語彙と文構造	2	英語の意味と語用	2	英文法 A	2
英文法 B	2	Communicative Writing B	2	English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	Instructional Design for Teaching English	2
Communication Theory	2	英語文献講読 A	2	英語文献講読 B	2	グローバルイシュー入門	2	国際教養学入門	2
英語文学概論	2	英語圏文化論	2	ヨーロッパ文化論	2	イスラム文化論	2	アジア文化論	2
アジア史概説	2	アメリカ史概説	2	ヨーロッパ史概説	2	欧米思想史	2	文化交流史	2
比較文化論	2	英語文学特講	2	英語圏文化特講	2	ヨーロッパ文化特講	2	アジア文化特講	2
現代アジア事情	2	現代欧米事情	2	現代思想	2	環境問題論	2	グローバル共生論	2
Mental Aspects of Language Teaching I	1	Mental Aspects of Language Teaching II	1	英語科教育法 A	2	英語科教育法 B	2	Mental Aspects of Language Teaching III	1
Mental Aspects of Language Teaching IV	1	Leadership Workshop I	1	Leadership Workshop II	1	Leadership Workshop III	1	Leadership Workshop IV	1
教科指導法 A(英語)	2	教科指導法 B(英語)	2						

(2) グローバル・フードビジネス・プログラム

(イ) 必修科目

GFBの基礎	4	食と文化	2	GFBの展開・応用	4	フードシステム論	2	GFBの実践	4
食品ビジネス研究 I	4	食品ビジネス研究 II	4	卒業論文ゼミナール	8				

(ロ) 選択必修科目

PBL A	2	PBL B	2	PBL C	2	PBL D	2
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(ハ) 選択科目

TOEIC講座 A	2	TOEIC講座 B	2	TOEIC講座 C	2	TOEIC講座 D	2	プロジェクト型インターンシップ	4
現代の経済	2	特別講義 A	4	特別講義 B	2	九州の食	2	海外語学研修	4
フードビジネス論	2	海外フードビジネス研修	4	ファイナンス入門	2	簿記会計の基礎	2	簿記入門	2
経営学入門	2	マーケティング入門	2	情報リテラシー	2	農業経済学	2	流通ビジネス論	2
財務諸表分析	2	マーケティング論	2	地域マーケティング論	2	心理学概論	2	ロジスティクス論	2
マルチメディア論	2	eコマース論	2	マーケティング戦略論	2	観光データサイエンス	2	広告実践論	2
ビジネスシステム論	2	コミュニティ・ビジネス論	2	地域デジタルマーケティング	2	基礎数学	2	化学 I	2
生物学 I	2	生物学 II	2	食品科学	2	食品衛生学	2	微生物学	2
6次産業化概論	2	地域食産業論	2	地域海洋産業論	2	フードツーリズム論	2	クリティカルシンキング	2
異文化コミュニケーション論	2	スポーツと開発	2	アジア経済論	2	実践プレゼンテーション	2	住居計画	2
マルチメディア概論	2	ソーシャルデザイン概論	2	企画デザイン演習 I	4	業務系施設インテリア概論	2	住居設備	2
ブランドデザイン演習	4	Webデザイン演習	4	空間設計概論	2	企画デザイン論	2	日本文化入門	2
アジア文化入門	2	欧米文化入門	2	グローバルイシュー入門	2	国際教養学入門	2	海外フィールドスタディ	2
国際関係論	2	アジア文化論	2	ヨーロッパ文化論	2	哲学	2	英語圏文化論	2
現代アジア事情	2	現代思想	2	グローバル共生論	2	現代欧米事情	2	国際協力論	2
ベーシック英語表現	2	ビジネス英語ボキャブラリー	2	ポップカルチャー英語	2	外国語演習 A	2	4Cイングリッシュ I	1
4Cイングリッシュ II	1	DXイングリッシュ	1	Gradedリーディング	1	Communicative Writing A	2	外国語演習 B	2
Communication Theory	2	Intercultural Communication	2	Media Communication	2				

(3) 日本文学学科

(イ) 必修科目

日本文学入門	2	アジア文化入門	2	欧米文化入門	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	4
ゼミナールⅢ	4	卒業論文・卒業研究	8						

(ロ) 選択必修科目

文学実地踏査A	2	文学実地踏査B	2
---------	---	---------	---

(ハ) 選択科目

哲学	2	言語学	2	歴史学	2	民俗学	2	古典に学ぶ	2
国際関係論	2	国際協力論	2	日本語教育学入門	2	日本語教育文法論	2	日本語教授法	2
日本語教育授業研究	2	日本語教育実習	2	日本文学	2	日本文学史	2	日本語学	2
日本語表記論	2	日本古典文学概論	2	日本近代文学概論	2	日本古典文学講読	2	日本近現代文学講読	2
日本語文法論	2	文章表現法A	2	文章表現法B	2	日本文学特講	2	日本古典文学特講	2
日本近代文学特講	2	日本語音韻論	2	民俗学概論	2	歴史学概論	2	伝統文化論	2
伝承文学論	2	文学と歴史	2	言葉と文化	2	民俗学特講	2	歴史学特講	2
メディア文化論	2	出版文化論	2	言葉と社会	2	くずし字読解	2	国際日本学	2
考古学	2	国語科教育法A	2	国語科教育法B	2	漢文学	2	書道実技	2
教科指導法A(国語)	2	教科指導法B(国語)	2						

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎A	1	アカデミック日本語基礎B	1	アカデミック日本語Ⅰ(読む・書く)	1	アカデミック日本語Ⅱ(読む・書く)	1	アカデミック日本語Ⅰ(聞く・話す)	1
アカデミック日本語Ⅱ(聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語(読む・書く)	1	実践アカデミック日本語(聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史ⅠA	1	日本の歴史ⅠB	1	日本の歴史ⅡA	1	日本の歴史ⅡB	1	日本の文化ⅠA	1
日本の文化ⅠB	1	日本の文化ⅡA	1	日本の文化ⅡB	1	日本の政治経済ⅠA	1	日本の政治経済ⅠB	1
日本の政治経済ⅡA	1	日本の政治経済ⅡB	1	一般日本事情ⅠA	1	一般日本事情ⅠB	1	一般日本事情ⅡA	1
一般日本事情ⅡB	1								

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習Ⅰ	2	教育実習Ⅱ	2	学校発達心理学	2
同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2		

本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

別表第9

人間科学部の授業科目の種類及び単位数

(一) 専門科目

(1) 臨床心理学科

(イ) 必修科目

○共通

臨床心理学概論	2	プライマリーゼミナール	2	心理福祉演習	2	専門ゼミナール	4
---------	---	-------------	---	--------	---	---------	---

○臨床心理福祉・公認心理師コース

臨床心理ゼミナールA	2	臨床心理ゼミナールB	2
------------	---	------------	---

○精神保健福祉士コース

精神保健福祉ゼミナール	4
-------------	---

(ロ) 選択必修科目

心理学概論	2	健康科学概論	2	人間形成論	2	発達心理学	2	情報処理演習A	2
対人支援の方法と行動	2								

(ハ) 選択科目

○共通

情報処理演習B	2	精神保健福祉概論	2	人体の構造と機能及び疾病	2	対人関係論	2	社会学と社会システム	2
精神疾患とその治療A	2	精神疾患とその治療B	2	コミュニティ心理学	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	現代の精神保健の課題と支援 I	2
現代の精神保健の課題と支援 II	2	知覚・認知心理学	2	学習・言語心理学	2	動物心理学	2	児童心理学	2
思考心理学	2	心理学研究法	2	心理学統計法	2	心理学基礎実験	2	心理学的支援法	2
障害者・障害児心理学	2	乳幼児心理学	2	福祉心理学	2	教育・学校心理学	2	神経・生理心理学	2
産業・組織心理学	2	健康・医療心理学	2	司法・犯罪心理学	2	社会・集団・家族心理学	2	心理学実験	2
社会保障 I	2	社会保障 II	2	社会福祉の原理と政策 I	2	社会福祉の原理と政策 II	2	地域福祉と包括的支援体制 I	2
地域福祉と包括的支援体制 II	2	権利擁護を支える法制度	2	障害者福祉	2	刑事司法と福祉	2	卒業論文	4

○A群

心理的アセスメント	2	感情・人格心理学	2	心理面接実習	2	ストレスマネジメント論	2	コミュニティアプローチ演習	2
心理統計法演習	2	社会福祉調査の基礎	2	精神保健福祉の原理 I	2	精神保健福祉の原理 II	2	精神保健福祉制度論	2
ソーシャルワークの理論と方法 I	2	ソーシャルワークの理論と方法 II	2	精神障害リハビリテーション論	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門) II	2

○B群

心理演習	2	公認心理師の職責	2	深層心理学	2	臨床心理学文献講読基礎	2	臨床心理学文献講読発展	2
------	---	----------	---	-------	---	-------------	---	-------------	---

○C群

関係行政論	2	心理実習	2
-------	---	------	---

○D群

ソーシャルワーク演習(専門) I	1	ソーシャルワーク実習指導 I	1	ソーシャルワーク演習	1	ソーシャルワーク演習(専門) II	2	ソーシャルワーク実習指導 II	2
ソーシャルワーク実習	4								

(2) 子ども教育学科

(イ) 必修科目

保育原理	2	保育者論	2	保育内容総論	2	子どもの造形表現	2	教育学概論	2
保育心理学 I	2	子ども学ゼミナール	2	保育内容(健康)	2	幼児理解の基礎	2	子どもの音楽表現 I	2
保育内容(人間関係)	2	保育内容(言葉)	2	保育内容(表現)	2	保育方法論	2	幼児教育課程論	2
保育内容(環境)	2	子どもの健康	2	教育の制度と経営	2	専門ゼミナール	4	特別支援教育基礎理論	2

(ロ) 選択必修科目

心理学概論	2	健康科学概論	2	人間形成論	2	発達心理学	2	対人支援の方法と行動	2
-------	---	--------	---	-------	---	-------	---	------------	---

(ハ) 選択科目

情報処理演習A	2	情報処理演習B	2	社会福祉概論	2	児童家庭福祉	2	社会的養護概論	2
子どもの音楽表現 II	2	乳児保育論	2	保育心理学 II	2	子どもの表現	2	子どもの言葉	2
子どもの環境	2	子どもの人間関係	2	社会的養護内容演習	2	教育相談(カウンセリングを含む)	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2
子どもの健康と安全	2	家庭支援論	2	子ども家庭支援の心理学	2	保育心理士実習	2	子どもの保健	2
障害児保育演習	2	子どもの食と栄養	2	乳児保育演習	2	保育相談支援演習	2	教育実習指導 I	1
教育実習 I	2	保育実習 I A	2	保育実習 I B	2	教育実習指導 II	1	教育実習 II	2
保育実習指導 I	2	保育総合表現	2	保育実習指導 II	1	保育実習指導 III	1	保育実習 II	2
保育実習 III	2	保育・教職実践演習(幼)	2	知的障害児の心理・生理・病理	2	肢体不自由児の心理・生理・病理	2	病弱児の心理・生理・病理	2
知的障害児教育総論	2	肢体不自由児教育総論	2	病弱児教育総論	2	知的障害児の指導法	2	肢体不自由児の指導法	2
病弱児の指導法	2	視覚障害児教育総論	1	聴覚障害児教育総論	1	視覚障害児の心理・生理・病理	1	聴覚障害児の心理・生理・病理	1
LD等・重複障害教育総論	2	特別支援学校教育実習・実習指導	3						

(3) スポーツ健康科学科

(イ) 必修科目

スポーツ心理学	2	スポーツ科学概論	2	スポーツ情報リテラシー	2	スポーツ健康科学演習基礎	2	運動生理学	2
スポーツ健康科学演習 I	2	スポーツ健康科学演習 II	2	スポーツ健康科学演習 III	2	スポーツ健康科学演習 IV	2	卒業研究	8

(ロ) 選択必修科目

心理学概論	2	健康科学概論	2	人間形成論	2	発達心理学	2	情報処理演習A	2
情報処理演習B	2	対人支援の方法と行動	2						

(ハ) 選択科目

スポーツマネジメント論	2	機能解剖学	2	スポーツ社会学	2	スポーツビジネス概論	2	スポーツ教育学	2
スポーツ史	2	スポーツ統計学	2	体づくり運動	1	水泳	1	サッカー	1
ダンス	1	バドミントン	1	バレーボール	1	スポーツ栄養学演習	2	スポーツ栄養学概論	2
運動学(運動方法学を含む)	2	体カトレーニング論	2	スポーツデータサイエンス	2	野球・ソフトボール	1	柔道	1
剣道	1	アドベンチャー実習	1	陸上競技	1	バスケットボール	1	ゴルフ実習	1
スノースポーツ実習	1	マリン実習	1	公衆衛生学	2	衛生学	2	スポーツ医学	2
バイオメカニクス	2	スポーツキャリア演習	2	エアロビックエクササイズ	1	アクアエクササイズ	1	ハンドボール	1
器械運動	1	ヘルスプロモーション論	2	スポーツマーケティング論	2	生活習慣病概論	2	スポーツ科学測定演習(生理・バイオ・心理・栄養)	2
スポーツ実践演習	2	体カトレーニング演習	2	体力測定評価演習	2	健康づくり運動の理論	2	地域スポーツマネジメント論	2
スポーツ医科学演習(救急措置法含む)	2	運動処方演習(運動負荷試験)	2	運動処方論	2	健康産業施設研修	2	学校体育指導演習	2
武道学概論	2	テーピングマッサージ	1	発育発達論	2	学校保健 I (小児保健含む)	2	学校保健 II (学校安全及び救急措置法含む)	2
精神保健	2	保健体育科教育法	4	体育科教材研究演習	2	コーチング概論	2	コーチング演習	2
メンタルトレーニング論	2	アダプテッドスポーツ論	2	教科指導法 I (保健体育)	2	教科指導法 II (保健体育)	2	体育科教科内容論	2
スポーツ文化論	2	海外留学基礎	2	スポーツと開発	2	スポーツ国際研修	4		

(二) 留学生に関する科目

(イ) 日本語

アカデミック日本語基礎 A	1	アカデミック日本語基礎 B	1	アカデミック日本語 I (読む・書く)	1	アカデミック日本語 II (読む・書く)	1	アカデミック日本語 I (聞く・話す)	1
アカデミック日本語 II (聞く・話す)	1	実践アカデミック日本語 (読む・書く)	1	実践アカデミック日本語 (聞く・話す)	1	ビジネス日本語	1	グローバル日本語	1

(ロ) 日本事情

日本の歴史 I A	1	日本の歴史 I B	1	日本の歴史 II A	1	日本の歴史 II B	1	日本の文化 I A	1
日本の文化 I B	1	日本の文化 II A	1	日本の文化 II B	1	日本の政治経済 I A	1	日本の政治経済 I B	1
日本の政治経済 II A	1	日本の政治経済 II B	1	一般日本事情 I A	1	一般日本事情 I B	1	一般日本事情 II A	1
一般日本事情 II B	1								

(三) 教職に関する科目

教職論	2	教育原理	2	教育心理学	2	教育制度論	2	道徳教育論	2
教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教育の方法・技術(情報通信技術を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	教育相談の方法・技術	2
教職実践演習(中・高)	2	教育実習事前事後指導	1	教育実習 I	2	教育実習 II	2	学校発達心理学	2
同和教育論	2	教育社会学	2	教職特講	2	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2		

1 本表に掲げる授業科目のうち専門科目の必修科目を除く各科目については都合によりその一部を開講しないことがある。

2 教職に関する科目はスポーツ健康科学科の学生のみ受講できる。

別表第10

卒業に必要な授業科目及び単位数

経済学部経済学科

授 業 科 目 区 分		授 業 科 目 及 び 単 位 数	
専 門 科 目	共通ユニット	必修科目	4 単位
		選択必修科目	16 単位以上
	コアユニット	選択科目	24 単位以上
	展開ユニット	選択科目	
		さらに専門科目から36 単位以上	
基礎教育科目		14 単位以上	
外国語科目		2 外国語以上10 単位以上 (英語 6 単位以上)	
合 計		124 単位以上	

商学部経営・流通学科

授 業 科 目 区 分		授 業 科 目 及 び 単 位 数	
専 門 科 目	共通科目	40 単位以上	
	コース横断科目 及び 所属コース科目	選択必修科目	10 単位以上
		選択科目	20 単位以上
基礎教育科目		16 単位以上	
外国語科目		8 単位以上 (英語 6 単位以上)	
合 計		124 単位以上	

※「日本語重点教育プログラム」対象者は、上記に加え日本語重点教育プログラム科目14単位を全て修得しなければならない。

商学部経営・流通学科 グローバル・フードビジネス・プログラム

授 業 科 目 区 分		授 業 科 目 及 び 単 位 数	
専 門 科 目	GFBBP科目	必修科目	32 単位
		選択必修科目	4 単位以上
		選択科目	10 単位以上
	学部横断科目	選択科目	18 単位以上
	学科科目	選択科目	30 単位以上
基礎教育科目		14 単位以上	
外国語科目		英語6 単位以上	
合 計		124 単位以上	

地域共創学部観光学科

授 業 科 目 区 分		授 業 科 目 及 び 単 位 数	
専 門 科 目	学科共通科目	必修科目	4 単位
		選択科目	12 単位以上
	学科共通科目	選択必修科目	10 単位以上
		選択科目	26 単位以上
コース科目	22 単位以上 (所属コース14 単位以上)		
基礎教育科目		14 単位以上	
外国語科目		10 単位以上 (英語6 単位以上)	
合 計		124 単位以上	

※「日本語重点教育プログラム」対象者は、上記に加え日本語重点教育プログラム科目14単位を全て修得しなければならない。

地域共創学部 観光学科 グローバル・フードビジネス・プログラム

授業科目区分		授業科目及び単位数		
専門科目	GFBP科目	必修科目	32単位	さらに 専門科目 から 20単位以上
		選択必修科目	4単位以上	
		選択科目	10単位以上	
	学部横断科目	選択科目	18単位以上	
	学科科目	選択科目	20単位以上	
基礎教育科目		14単位以上		
外国語科目		英語6単位以上		
合計		124単位以上		

地域共創学部地域づくり学科

授業科目区分		授業科目及び単位数		
専門科目	学科共通科目	必修科目	4単位	さらに専門科目から22単位以上
		選択科目	12単位以上	
	学科共通科目	選択必修科目	10単位以上	
		選択科目	18単位以上	
	コース科目	18単位以上		
基礎教育科目	16単位以上		さらに専門科目、基礎教育科目及び外国語科目から16単位以上	
外国語科目	8単位以上（英語6単位以上）			
合計	124単位以上			

※「日本語重点教育プログラム」対象者は、上記に加え日本語重点教育プログラム科目14単位を全て修得しなければならない。

地域共創学部 地域づくり学科 グローバル・フードビジネス・プログラム

授業科目区分		授業科目及び単位数		
専門科目	GFBP科目	必修科目	32単位	さらに 専門科目 から 10単位以上
		選択必修科目	4単位以上	
		選択科目	10単位以上	
	学部横断科目	選択科目	18単位以上	
	学科科目	選択科目	30単位以上	
基礎教育科目		14単位以上		
外国語科目		英語6単位以上		
合計		124単位以上		

理工学部

授業科目区分		授業科目及び単位数					
		情報科学科		機械電気創造工学科		スマートコミュニケーション工学科	
専門科目	必修科目	36単位	外 国 語 に 専 門 科 目 か ら 1 6 単 位 基 礎 教 育 科 目、	38単位	外 国 語 に 専 門 科 目 か ら 1 4 単 位 基 礎 教 育 科 目、	52単位	外 国 語 に 専 門 科 目 か ら 1 6 単 位 基 礎 教 育 科 目、
	選択科目	52単位以上		50単位以上		36単位以上	
基礎教育科目	導入科目	2単位		2単位		2単位	
	学修基礎科目	12単位以上		14単位以上		12単位以上	
	キャリア科目						
	文理芸融合科目						
教養科目							
外国語科目		英語6単位以上	英語6単位以上	英語6単位以上			
合計		124単位以上	124単位以上	124単位以上			

生命科学部

授業科目区分		授業科目及び単位数
専門科目	必修科目	43単位
	選択必修科目	18単位以上
	選択科目	33単位以上
基礎教育科目	導入科目	2単位
	学修基礎科目	22単位以上
	キャリア科目	
	文理芸融合科目	
教養科目		
外国語科目		英語6単位以上
合計		124単位以上

生命科学部 生命科学科 グローバル・フードビジネス・プログラム

授業科目区分		授業科目及び単位数		
専門科目	GFBP科目	必修科目	32単位	さ ら に 専 門 科 目 か ら 1 0 単 位 以 上
		選択必修科目	4単位以上	
		選択科目	10単位以上	
	学部横断科目	選択科目	26単位以上	
	学科科目	必修科目	6単位	
選択科目		16単位以上		
基礎教育科目		14単位以上		
外国語科目		英語6単位以上		
合計		124単位以上		

建築都市工学部

授業科目区分		授業科目及び単位数		
		建築学科	住居・インテリア学科	都市デザイン工学科
専門科目	必修科目	76単位	66単位	56単位
	選択必修科目	———	12単位以上	———
	選択科目	28単位以上	26単位以上	48単位以上
基礎教育科目		14単位以上	14単位以上	14単位以上
外国語科目		英語6単位以上	英語6単位以上	英語6単位以上
合計		124単位以上	124単位以上	124単位以上

芸術学部

授業科目区分		授業科目及び単位数	
専門科目	必修科目	56単位	
	選択必修科目	18単位以上	
	選択科目	26単位以上	
基礎教育科目		18単位以上	
外国語科目		英語6単位以上	
合計		124単位以上	

芸術学部 ソーシャルデザイン学科 グローバル・フードビジネス・プログラム

授業科目区分		授業科目及び単位数		
専門科目	GFBP科目	必修科目	32単位	さらに 専門科目 から 10単位以上
		選択必修科目	4単位以上	
		選択科目	10単位以上	
	学部横断科目	選択科目	18単位以上	
	学科科目	選択科目	30単位以上	
基礎教育科目		14単位以上		
外国語科目		英語6単位以上		
合計		124単位以上		

国際文化学部

授業科目区分	授業科目及び単位数									
	国際文化学科				日本文化学科					
専門科目	学部共通科目	必修科目	6単位		以上さらに専門教育科目及び外国語科目から10単位	学部共通科目	必修科目	6単位		以上さらに専門教育科目及び外国語科目は含まないから20単位
		選択科目	6単位以上				選択科目	8単位以上		
	学科コア科目	必修科目	22単位			学科共通科目	必修科目	18単位		
		選択必修科目	4単位以上				選択必修科目	2単位以上		
	学科展開科目	英語エキスパート科目	14単位以上	さらに20単位以上		学科展開科目	文学・語学科目	12単位以上	さらに20単位以上	
		国際教養科目	8単位以上				歴史・民俗学科目	8単位以上		
AEL科目			資格科目							
基礎教育科目	導入科目 2単位		20単位以上		導入科目 2単位		20単位以上			
	20単位以上				20単位以上					
外国語科目	2外国語14単位以上（英語8単位以上）				2外国語10単位以上（英語6単位以上）					
合計	124単位以上				124単位以上					

国際文化学部 国際文化学科 グローバル・フードビジネス・プログラム

授業科目区分	授業科目及び単位数			
専門科目	GFBP科目	必修科目	32単位	
		選択必修科目	4単位以上	
		選択科目	10単位以上	
	学部横断科目	選択科目	16単位以上	
	学科科目	教養科目	18単位以上	さらに学科科目から4単位以上
語学科目		12単位以上		
基礎教育科目		14単位以上		
外国語科目		2外国語14単位以上（英語8単位以上）		
合計		124単位以上		

人間科学部

授業科目区分	授業科目及び単位数						
	臨床心理学科		子ども教育学科		スポーツ健康科学科		
専門科目	必修科目	14単位	上目さらに外国語専門科目から基礎単位教育科	42単位	上目さらに外国語専門科目から基礎単位教育科	26単位	上目さらに外国語専門科目から基礎単位教育科
	選択必修科目	6単位以上		6単位以上		6単位以上	
	選択科目	64単位以上		38単位以上		62単位以上	
基礎教育科目		14単位以上		14単位以上		14単位以上	
外国語科目		英語6単位以上		英語6単位以上		英語6単位以上	
合計		124単位以上		124単位以上		124単位以上	

別表第11

(1) 司書に関する科目

生涯学習概論	2	図書館概論	2	図書館制度・経営論	2	図書館情報技術論	2	図書館サービス概論	2
情報サービス論	2	児童サービス論	2	情報サービス演習Ⅰ	1	情報サービス演習Ⅱ	1	図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2	情報資源組織演習	2	図書館基礎特論	1	図書館サービス特論	1	図書館情報資源特論	1
図書・図書館史	1	図書館施設論	1	図書館総合演習	1	図書館実習	1		

(2) 司書教諭に関する科目

学校経営と学校図書館	2	学校図書館メディアの構成	2	学習指導と学校図書館	2	読書と豊かな人間性	2	情報メディアの活用	2
------------	---	--------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---

別表第12

博物館に関する科目

生涯学習概論	2	博物館概論	2	博物館経営論	2	博物館資料論	2	博物館資料保存論	2
博物館展示論	2	博物館教育論	2	博物館情報・メディア論	2	博物館実習	3	文化史	4
美術史	2	考古学	2	民俗学	4	物理学	4	化学	2
生物学	4	地学	4						

別表第13

社会教育主事に関する科目

生涯学習概論	2	生涯学習基礎	2	生涯学習支援論Ⅰ	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	社会教育経営論Ⅰ	2
社会教育経営論Ⅱ	2	社会教育実習	2	社会教育演習	2	同和教育論	2	道徳教育論	2
図書館概論	2	博物館概論	2	博物館教育論	2	博物館情報・メディア論	2	教育原理	2
教育制度論	2								

別表第14

芸術専攻科の授業科目の種類及び単位数

(1) 美術専攻

(イ) 必修科目

造形創作研究	8	造形特論	4
--------	---	------	---

(ロ) 選択科目

絵画材料研究	4	彫塑材料研究	4	版画創作研究	4	実材彫刻研究	4	美術概論	4
--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	------	---

(2) デザイン専攻

(イ) 必修科目

デザイン特論	4	デザイン製作実習 (ビジュアル・デザイン)	8	デザイン製作実習 (環境デザイン)	8	デザイン製作実習 (製品デザイン)	8
--------	---	--------------------------	---	----------------------	---	----------------------	---

(ロ) 選択科目

デザイン・ゼミナール (ビジュアル・デザイン)	4	デザイン・ゼミナール (環境デザイン)	4	デザイン・ゼミナール (製品デザイン)	4	構成研究	4	材料研究	4
機能研究	4	色彩及び形態研究	4	デザイン及び造形史	4				

(3) 写真専攻

(イ) 必修科目

写真特論	4	論文又は製作	8
------	---	--------	---

(ロ) 選択科目

写真芸術論	4	産業写真論	4	写真演習	12
-------	---	-------	---	------	----

別表第15

(1) 入学検定料、再入学選考料及び科目等履修生選考料

イ 入学検定料

(単位:円)

種 別	金 額
学 校 推 薦 型 選 抜	32,000
一 般 選 抜	
実 技 選 抜	
編 入 学 選 抜	
帰 国 子 女 選 抜	
社 会 人 選 抜	
総 合 型 選 抜	
特 別 総 合 推 薦 選 抜	
大 学 入 学 共 通 テ ス ト 利 用 選 抜	15,000
一 般 選 抜 ・ 大 学 入 学 共 通 テ ス ト 併 用 型 選 抜	10,000
外 国 人 留 学 生 選 抜	30,000

- (注) 1. 一般選抜における2出願目からの入学検定料は、1出願につき10,000円とする。
 2. 九州産業大学造形短期大学部大学卒業で、本学の編入学選抜を出願する者の入学検定料は、18,000円とする。
 3. 総合型選抜及び特別総合推薦選抜において、二段階選抜を実施する場合は、一次選考10,000円、二次選考22,000円とする。
 4. 大学入学共通テストにおける2出願目からの入学検定料は、1出願につき10,000円とする。
 5. 一般選抜・大学入学共通テスト併用型選抜を出願する者は、一般選抜の入学検定料32,000円を別途納付のうえ、受験しなければならない。
 6. 学校推薦型選抜及び総合型選抜において、入学手続を完了した者が大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合の入学検定料は、5,000円とする。

ロ 再入学選考料

(単位:円)

種 別	金 額
再 入 学 選 考 料	16,000

ハ 科目等履修生選考料

(単位:円)

種 別	金 額	
科 目 等 履 修 生 選 考 料	本 学 卒 業 者 及 び 修 了 者	6,000
	本 学 以 外 の 卒 業 者	12,000

(2) 入学金

(単位:円)

学 部	金 額
経 済 学 部	200,000
商 学 部	200,000
地 域 共 創 学 部	200,000
理 工 学 部	200,000
生 命 科 学 部	200,000
建 築 都 市 工 学 部	200,000
芸 術 学 部	200,000
国 際 文 化 学 部	200,000
人 間 科 学 部	200,000

(3) 修学費 (単位:円)

種 別		学 部			
		経済学部	商学部 (GFBPを 含む。)	地域共創学部 (GFBPを 含む。)	
修学費	授業料	720,000	720,000	720,000	
	教育充実費	180,000	180,000	180,000	
	合計(年額)	900,000	900,000	900,000	
	分納	第1回	450,000	450,000	450,000
		第2回	450,000	450,000	450,000
納付期限	分納	第1回 第2回 所 定 の 期 日			

(単位:円)

部 種 別		学 部	生命科学部			芸術学部		
			理工学部	生命科学科	生命科学科 GFBP	建築都市工学部	芸術表現学科 写真・映像 メディア学科 ビジュアル デザイン学科 生活環境 デザイン学科 ソーシャル デザイン学科	ソーシャル デザイン学 科 GFBP
修学費	授業料	960,000	960,000	816,000	960,000	1,000,000	832,000	
	教育充実費	430,000	450,000	288,000	410,000	480,000	300,000	
	合計(年額)	1,390,000	1,410,000	1,104,000	1,370,000	1,480,000	1,132,000	
	分納	第1回	695,000	705,000	552,000	685,000	740,000	566,000
		第2回	695,000	705,000	552,000	685,000	740,000	566,000
納付期限	分納	第1回 第2回 所 定 の 期 日						

(単位:円)

種 別		学 部		人間科学部			
		国際文化学部	国際文化学部 GFBP	臨床心理学科	子ども教育学科	スポーツ 健康科学科	
修学費	授業料	720,000	720,000	700,000	780,000	850,000	
	教育充実費	180,000	180,000	200,000	280,000	390,000	
	合計(年額)	900,000	900,000	900,000	1,060,000	1,240,000	
	分納	第1回	450,000	450,000	450,000	530,000	620,000
		第2回	450,000	450,000	450,000	530,000	620,000
納付期限	分納	第1回 第2回 所 定 の 期 日					

- (注) 1. 「GFBP」とは、グローバル・フードビジネス・プログラムをいう。
 2. 日本語重点教育プログラム対象者は、1年次のみ当該学部の授業料に150,000円を加算する。ただし、2年次の進級要件を満たした者は、加算しない。

(4) 在籍料 (年額) (単位:円)

種 別	金 額
在籍料	120,000

※半期の休学が認められた者の在籍料は、年額の在籍料の半額とする。

理工学部教職課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、九州産業大学学則（以下「学則」という。）第22条第2項の規定に基づき、理工学部の教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程（以下「教職課程」という。）における授業科目の履修及び単位の修得方法について、必要な事項を定める。

(所要資格を得るための基礎資格及び単位)

第2条 免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格及び授業科目の最低修得単位数を満たさなければならない。

学 科	免許状の種類	免許 教科	基礎 資格	所要資格を得るための最低修得単位数			
				教育職員免許 法施行規則第 66条の6に 定める科目	教科及び教科 の指導法に関 する科目	教育の基礎的 理解に関する 科目等	大学が独自に 設定する科目
情報科学科	中学校教諭一種	数学	学士の 学位を 有する こと	8	28	29	4
	高等学校教諭一種	数学			26	25	12
	高等学校教諭一種	情報			30	25	12
機械電気 創造工学科	中学校教諭一種	技術			30	29	4
	高等学校教諭一種	工業			28	25	12

2 前項に規定する教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目、教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び大学が独自に設定する科目については、別表第1から別表第4に掲げるとおりとする。

3 別表第2の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

4 別表第3の教育の基礎的理解に関する科目等の最低修得単位数を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

5 中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、指定された施設等で7日間の介護等体験を行うとともに、介護等体験に関する証明書を取得しなければならない。

(教育実習の履修)

第3条 教育実習を履修する者は、当該年度において卒業見込みであり、かつ、前年度までに次に掲げる授業科目の単位を全て修得していなければならない。

(1) 高等学校で教育実習を行う者

「教職論」、「教育心理学」、「教育課程論」、「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」、「生徒指導論（進路指導を含む）」、「教育原理」、「教科教育法」、「教育制度論」、「教育相談の方法・技術」、「教育の方法・技術（情報通信技術を含む）」、「教科指導法Ⅰ」

(2) 中学校で教育実習を行う者

「教職論」、「教育心理学」、「教育課程論」、「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」、「生徒指導論（進路指導を含む）」、「教育原理」、「教科教育法」、「教育制度論」、「教育相談の方法・技術」、「教育の方法・技術（情報通信技術を含む）」、「道徳教育論」、「教科指導法Ⅰ」、「教科指導法Ⅱ」

2 教務部長は、前項の要件を満たしているにもかかわらず、教育実習の受講者として不適当な行為があった者について、教職・司書課程等委員会の議を経て、当該教育実習の履修を取り消すことができる。

(受講料等)

第4条 教職課程を履修する者は、別に定める教職課程等受講料及び教育実習登録料を納付しなければならない。

(科目等履修生)

第5条 教職課程の科目等履修生に関しては、学則第77条から第79条までの規定を準用する。

(履修規程の準用)

第6条 教職課程における受講、単位、試験及び成績等については、理工学部授業科目履修規程第3章から第5章までの規定を準用する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条別表第 3 及び第 3 条の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条及び第 3 条の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条別表第 2 の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 3 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条別表第 1 から別表第 3 及び第 3 条の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条別表第 3 の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 5 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条別表第 2 の規定の適用については、なお従前の例による。
- 3 九州産業大学工学部教職課程履修規程及び九州産業大学情報科学部教職課程履修規程は、廃止する。

附 則

- 1 この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 6 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条、第 2 条別表第 1 から別表第 4 の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 7 年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第 2 条、第 2 条別表第 1 から別表第 4 の規定の適用については、なお従前の例による。

別表第1

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				備 考
科目区分	最低修得単位数	授業科目	単位数	配当年次	最低修得単位数	
日本国憲法	2	日本国憲法A 日本国憲法B	1 1	1 1	2	
体 育	2	スポーツ科学演習A スポーツ科学演習B	1 1	1 1	2	
外国語 コミュニケーション	2	Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV English Plus A English Plus B English Expressions A English Expressions B Four Skills I Four Skills II TOEIC Basic A TOEIC Basic B TOEIC Plus A TOEIC Plus B	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 2 2 3 3 3 3 1 1 1 1 1 1	2	
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	プログラミング入門 AI導入 プログラミング導入 データサイエンス基礎 データリテラシー	2 1 1 1 1	1 1 1 1 1	2	
合 計	8	合 計			8	

別表第2 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 理工学部情報科学科

(ア) 中学校教諭一種(数学)

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授 業 科 目	単位数	配当年次	
教科に関する専門的事項	代 数 学	28	○ 線形代数Ⅰ	2	1	28
			線形代数Ⅱ	2	1	
			○ 離散数学Ⅰ	2	1	
			○ 離散数学Ⅱ	2	1	
			離散数学Ⅲ	2	2	
			離散数学Ⅳ	2	2	
			代数学Ⅰ	2	3	
			代数学Ⅱ	2	3	
	幾 何 学		○ 微分幾何学Ⅰ	2	3	
			○ 初等幾何学	2	2	
	位相空間論	2	3			
解 析 学	○ 微分積分Ⅰ	2	1			
	○ 微分積分Ⅱ	2	2			
	微分方程式	2	2			
	関数解析学	2	3			
「確率論、統計学」	情報理論	2	2			
	○ 統計学	2	2			
	○ 確率統計	2	2			
コ ン ピ ュ ー タ	○ 数値解析学	2	3			
	プログラミング基礎Ⅰ	2	1			
	データ構造とアルゴリズムⅠ	2	2			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			○ 数学科教育法	4	2	
			○ 教科指導法Ⅰ(数学)	2	3	
			○ 教科指導法Ⅱ(数学)	2	3	

(注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。

2. 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)に関する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。

3. 教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数(28単位)を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

(イ) 高等学校教諭一種（数学）

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				備 考	
施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数	授 業 科 目	単位数	配当年次		最低修得単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
教科に関する専門的事項	代 数 学	24	○ 線形代数Ⅰ	2	1	26	
			線形代数Ⅱ	2	1		
			○ 離散数学Ⅰ	2	1		
			○ 離散数学Ⅱ	2	1		
			離散数学Ⅲ	2	2		
			離散数学Ⅳ	2	2		
	代数学Ⅰ		2	3			
	代数学Ⅱ		2	3			
	幾 何 学		○ 微分幾何学Ⅰ	2	3		
			○ 初等幾何学	2	2		
			位相空間論	2	3		
	解 析 学		○ 微分積分Ⅰ	2	1		
			○ 微分積分Ⅱ	2	2		
			微分方程式	2	2		
			関数解析学	2	3		
	「確率学、統計学」		情報理論	2	2		
			○ 統計学	2	2		
			○ 確率統計	2	2		
	コンピュ ー タ		○ 数値解析学	2	3		
			プログラミング基礎Ⅰ	2	1		
			データ構造とアルゴリズムⅠ	2	2		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			○ 数学科教育法	4	2		
			○ 教科指導法Ⅰ（数学）	2	3		

- (注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。
2. 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）に関する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。
3. 教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数（26単位）を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

(ウ) 高等学校教諭一種（情報）

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				備 考
施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数	授 業 科 目	単位数	配当年次	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					
教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	24	○ 情報リテラシー	2	1	30
	コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）		知的財産権	2	3	
			○ 情報と職業	2	3	
			○ プログラミング基礎Ⅱ	2	1	
			○ 計算機構成論Ⅰ	2	1	
			○ 計算機構成論Ⅱ	2	2	
情報システム（実習を含む。）	○ AIプログラミング演習	2	2			
	データ構造とアルゴリズムⅠ演習	2	2			
情報通信ネットワーク	オブジェクト指向設計	2	3			
	プログラミング言語とコンパイラ	2	2			
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	オペレーティングシステム	2	2			
	○ Webプログラミング演習	2	3			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ データベース	2	3		
		○ コンピュータネットワーク	2	2		
		○ 情報セキュリティ	2	3		
		○ コンピュータグラフィックス基礎	2	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	コンピュータグラフィックス応用	2	3		
		パターン認識と機械学習	2	3		
		○ マルチメディア	2	3		
		○ 情報科教育法	4	2		
		○ 教科指導法Ⅰ（情報）	2	3		

- (注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。
2. 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）に関する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。
3. 教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数（30単位）を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

(2) 理工学部機械電気創造工学科

(ア) 中学校教諭一種（技術）

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				備 考
施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位 数	配 当 年 次	最低修得単 位 数	
科 目 区 分	各科目に含めることが必要な事項					最低修得単 位 数
教科に関する専門的事項	材 料 加 工 (実習を含む。)	○ 材料加工 ○ 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 材料力学Ⅲ ○ 機械加工学 機械製図 機械材料	2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 3 2 2 2	30	
	機 械 ・ 電 気 (実習を含む。)	○ メカトロニクス ○ メカトロニクス実習 ○ 機械工学実験 ○ 電気電子基礎実験Ⅰ 電気電子基礎実験Ⅱ ○ 電気エネルギー概論 工業概論 制御工学 機械四力学基礎 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 3 2 2 2 2 2 1 1 2		
	生 物 育 成	○ 生物育成	2	2		
	情 報 と コ ン ピ ュ ー タ	○ 情報リテラシー ○ プログラミング基礎Ⅰ 機電プログラミング AIプログラミング AIリテラシー	2 2 2 2 2	1 1 1 2 3		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		○ 技術科教育法 ○ 教科指導法Ⅰ（技術） ○ 教科指導法Ⅱ（技術）	4 2 2	2 3 3		

(注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。

2. 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）に関する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。

3. 教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数（30単位）を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

(イ) 高等学校教諭一種（工業）

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				備 考
施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数	授 業 科 目	単位数	配当年次	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	24	○ 工業概論	2	2	28
			○ 機械四力学基礎	2	1	
			○ 電気回路Ⅰ	2	1	
			○ 電気回路Ⅱ	2	2	
○ 機械工学実験			2	3		
○ メカトロニクス			2	2		
○ 制御工学			2	2		
○ 機械工作法			2	2		
○ 電気電子基礎実験Ⅰ			2	2		
機電工学基礎			2	1		
メカトロニクス実習			2	2		
機械力学			2	2		
材料力学Ⅰ			2	2		
材料力学Ⅱ	2		2			
機械製図	2		2			
機械材料	2		2			
電気エネルギー概論	2		2			
電磁気学Ⅰ	2		2			
電磁気学Ⅱ	2		2			
電気電子計測Ⅰ	2		2			
電気電子計測Ⅱ	2		3			
電気電子基礎実験Ⅱ	2		2			
職業指導	○ 職業指導		4	3		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 工業科教育法	4	2			
	○ 教科指導法Ⅰ（工業）	2	3			

- (注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。
2. 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）に関する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。
3. 教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数（28単位）を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

別表第3 教育の基礎的理解に関する科目等

(ア) 中学校教諭一種

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数			本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数			
科目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	配当年次	最低修得単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○ 教育原理	2	2	12
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）		○ 教職論	2	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○ 教育制度論 教育社会学	2 2	3 2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 教育心理学 学校発達心理学	2 2	1 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○ 特別な教育的ニーズの理解とその支援	2	3	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○ 教育課程論	2	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育論	2	2	10
	総合的な学習の時間の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2	
	特別活動の指導法		○ 教育の方法・技術（情報通信技術を含む）	2	3	
	教育の方法及び技術					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○ 生徒指導論（進路指導を含む）	2	2	
	生徒指導の理論及び方法					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○ 教育相談の方法・技術	2	3			
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導	1	4	5
			○ 教育実習Ⅰ	2	4	
			○ 教育実習Ⅱ	2	4	
	学校体験活動					
教職実践演習	2	○ 教職実践演習（中・高）	2	4	2	
合計		27	合計			29

- (注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。
 2. 教育の基礎的理解に関する科目等は、卒業に必要な単位としては認定されない。
 3. 教育の基礎的理解に関する科目等の最低修得単位数（29単位）を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

(イ) 高等学校教諭一種

免許法施行規則に定める科目区分及び最低修得単位数			本学における免許状取得のための授業科目及び最低修得単位数				
科目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	配当年次	最低修得単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○ 教育原理	2	2	12	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）		○ 教職論	2	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○ 教育制度論 教育社会学	2 2	3 2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 教育心理学 学校発達心理学	2 2	1 2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○ 特別な教育的ニーズの理解とその支援	2	3		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○ 教育課程論	2	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2	8	
	特別活動の指導法		○ 教育の方法・技術	2	3		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			2	3		
	生徒指導の理論及び方法			○ 生徒指導論（進路指導を含む）	2		2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			○ 教育相談の方法・技術	2		3
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法							
教育実践に関する科目	教育実習	3	○ 教育実習事前事後指導	1	4	3	
	学校体験活動		○ 教育実習 I	2	4		
	教職実践演習	2	○ 教職実践演習（中・高）	2	4	2	
合計		23	合計			25	

(注) 1. ○印は教職課程における必修科目であり、その他は選択科目である。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等は、卒業に必要な単位としては認定されない。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等の最低修得単位数（25単位）を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

別表第4 大学が独自に設定する科目

(ア) 中学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目 区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のため の授業科目及び最低修得単位数			
科目区分	最低修得 単位数	授 業 科 目	単位数	配当年次	最低修得 単 位 数
大学が独自に設定する科目	4	教職特講	2	3	4
		同和教育論	2	3	

(注) 1. 別表第2の教科及び教科の指導法に関する科目及び別表第3の教育の基礎的理解に関する科目等の最低修得単位数を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

2. 大学が独自に設定する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。

(イ) 高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目 区分及び最低修得単位数		本学における免許状取得のため の授業科目及び最低修得単位数			
科目区分	最低修得 単位数	授 業 科 目	単位数	配当年次	最低修得 単 位 数
大学が独自に設定する科目	12	教職特講	2	3	12
		同和教育論	2	3	
		道德教育論	2	2	

(注) 1. 別表第2の教科及び教科の指導法に関する科目及び別表第3の教育の基礎的理解に関する科目等の最低修得単位数を超えて修得した単位は、別表第4の大学が独自に設定する科目の単位を修得したものとみなすことができる。

2. 大学が独自に設定する科目は、卒業に必要な単位としては認定されない。

学位規程（大学）

第1章 総則

（趣旨）

第1条 九州産業大学（以下「本学」という。）が授与する学位については、九州産業大学学則及び九州産業大学大学院学則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（学位）

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

第2章 学位の種類

（学士）

第3条 学士の学位は、本学を卒業した者に授与する。

2 学士の学位記は、様式第1号の1及び様式第1号の2のとおりとし、卒業した学部に対応してそれぞれ次のとおり付記するものとする。

経済学部	学士（経済学）
商学部	学士（商学）
地域共創学部 観光学科	学士（観光学）
地域づくり学科	学士（地域学）
理工学部 情報科学科	学士（情報科学）
機械電気創造工学科	学士（工学）
スマートコミュニケーション工学科	学士（工学）
生命科学部	学士（工学）
建築都市工学部	学士（工学）
芸術学部	学士（芸術）
国際文化学部	学士（国際文化）
人間科学部	学士（人間科学）

（修士）

第4条 修士の学位は、本学大学院の博士前期課程を修了した者に授与する。

2 修士の学位記は、様式第2号の1及び様式第2号の2のとおりとし、修了した者に次のとおり付記するものとする。

経済・ビジネス研究科	経済学専攻	修士（経済学）
		修士（地域学）
	現代ビジネス専攻	修士（商学）
		修士（経営学）
工学研究科		修士（工学）
芸術研究科		修士（芸術）
国際文化研究科		修士（文学）
情報科学研究科		修士（情報科学）

（博士）

第5条 博士の学位は、次の各号に掲げる者に授与する。

- (1) 本学大学院の博士後期課程を修了した者。
- (2) 本学大学院の博士後期課程の修了の要件を満たさない者で、独創的研究に基づく学位論文を希望する研究科に提出して学位論文の審査に合格し、博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを試験により確認され、かつ、広い学識と高度の研究能力を有すると認められた者

2 博士の学位記は、様式第3号の1、様式第3号の2及び様式第3号の3のとおりとし、修了及び前項第2号に係る研究科に対応して次のとおり付記するものとする。

経済・ビジネス研究科	博士（経済学）
	博士（商学）
	博士（経営学）
工学研究科	博士（工学）
芸術研究科	博士（芸術）
国際文化研究科	博士（文学）
情報科学研究科	博士（情報科学）

第3章 学位論文等の提出及び審査

（修士学位論文等の提出）

第6条 博士前期課程に在学する者は、修士の学位論文1編3部及び論文要旨3部又は作品を、所定の期日までに研究指導教員を経て研究科長に提出するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、本学大学院学則第17条第2項の規定に該当する者は、課題研究報告書をもって修士の学位論文に代えることができる。

(博士学位論文等の提出)

第7条 博士後期課程に在学する者は、所定の期日までに学位論文審査願に博士の学位論文1編3部（工学研究科及び芸術研究科は研究指導教員の指導により作品を加えることができる。）、論文要旨3部及び履歴書3通を添えて、研究指導教員及び研究科長を経て学長に提出するものとする。

2 前項の規定に該当しない者は、所定の期日までに学位授与申請書に博士の学位論文1編3部、論文要旨3部、履歴書3通及び別に定める審査手数料を添えて、学長に提出するものとする。

3 学長は、前2項の博士の学位論文等を受理したときは、該当する研究科教授会にその審査を委嘱するものとする。

(学位論文等の審査)

第8条 学長は、学位論文等の審査について、当該研究科の博士後期課程においては研究科教授会、博士前期課程においては研究科委員会に設ける審査委員会の意見を聴取した上で行うものとし、審査委員会の構成は次の各号のとおりとする。

(1) 博士前期課程においては、研究指導教員を主査とし、当該学位論文等に関連のある授業科目担当の教員2名を副査として構成する。

(2) 博士後期課程においては、研究指導教員を主査とし、当該学位論文に関連のある研究指導科目担当の教員2名以上を副査として構成する。

2 学長が、研究科教授会の意見を聴取した上で必要と認めるときは、前項第2号の審査委員会に他の大学院又は研究所等の教員等を加えることができる。

(最終試験等)

第9条 本学大学院学則第17条及び第18条に定める最終試験並びに試験は、前条に規定する審査委員会が、学位論文等提出者の研究成果を確認するため、当該学位論文等を中心とし、試問の方法によって行う。この場合の試問は口頭による。ただし、筆答試験を併せて行うことができる。

(審査及び最終試験等の時期)

第10条 修士の学位論文等の審査及び最終試験は、当該学位論文等の提出後、おおむね2月以内に行うものとする。

2 博士の学位論文等の審査及び最終試験並びに試験は、博士の学位論文を受理した後、1年以内に行うものとする。

(結果の報告)

第11条 審査委員会の主査は、学位論文等の審査及び最終試験並びに試験が終了したときは、学位論文等審査報告書を研究科長に提出するものとする。

(審査基準)

第12条 学位論文等の審査基準は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 修士の学位論文等にあつては、広い視野に立って精深な学識と専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を示すもの
- (2) 博士の学位論文等にあつては、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を示すもの

(課程修了等の判定)

第13条 博士前期課程及び博士後期課程の修了の判定は、学長が、審査委員会の審査結果の報告に基づき、博士後期課程においては研究科教授会、博士前期課程においては研究科委員会の意見を聴取した上で行う。

- 2 第7条第2項の規定に該当する者の判定は、前項に準じて行うものとする。

(学位記の授与)

第14条 学長は、前条に基づき、研究科教授会又は研究科委員会の意見を聴取した上で修士又は博士の学位を授与する。

- 2 前項に基づく学位記の授与は、毎年3月及び9月とする。

第4章 学位の取消し

(学位の取消し)

第15条 学長は、本学において修士の学位及び博士の学位を授与された者が、次の各号の一に該当したときは、研究科教授会又は研究科委員会の意見を聴取した上で学位の授与を取り消し、学位を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

- (1) 不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき
- (2) 学位の名誉を汚す行為をしたとき

第5章 その他

(学位の使用)

第16条 学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学名を付記するものとする。

(学位論文等の保存)

第17条 学位を授与された者の学位論文又は作品の写真は、本学図書館に保存するものとする。

(学位授与の報告)

第18条 学長は、博士の学位を授与したときは、その旨を文部科学大臣に報告するものとする。

(学位論文要旨等の公表)

第19条 本学は、博士の学位を授与したときは、学位を授与した日から3月以内に、授与された者の学位論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

第20条 博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文（以下「博士論文」という。）の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者で、やむを得ない事由がある場合には、学長の承認を得て、当該博士論文の全文に代えて、論文内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
- 3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、当該博士の学位を授与した本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成3年12月1日から施行する。
- 2 九州産業大学大学院学位規程は、廃止する。

附 則

- 1 この規程は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 平成4年度以前に入学した学生に対する改正後の学位規程第3条の適用については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成15年度以前に大学院に入学した学生に対する改正後の規程の適用については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度以前に入学した学生に対する改正後の学位規程第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第4条第2項、第5条第2項及び第8条第1項第2号の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成25年6月16日から施行し、平成25年4月1日から適用する。
- 2 平成25年3月31日以前に博士の学位を授与された学生に対する改正後の規程第19条及び第20条の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第7条第1項の適用については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年1月12日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和4年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第3条の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和5年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第4条第2項の規定の適用については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 令和7年度以前に入学した学生に対する改正後の規程第3条第2項の規定の適用については、なお従前の例による。

様式第1号の1

九州産業大学長 氏名 印	年 月 日	第 号 学位記 氏名 年 月 日生	本学○学部○学科所定の課程を修めて 本学を卒業したことを認め学士(○○) の学位を授与する
--------------------	-------	----------------------------	---

様式第1号の2

九州産業大学長 氏名 印	年 月 日	第 号 学位記 氏名 年 月 日生	本学○学部○学科においてグローバ ル・フードビジネス・プログラム所定の 課程を修めて本学を卒業したことを認 め学士(○○)の学位を授与する
--------------------	-------	----------------------------	--

様式第2号の1

九州産業大学長 氏名 印	年 月 日	第 号 学位記 氏名 年 月 日生	本学大学院○研究科○○専攻の 博士前期課程において所定の単位を 修得し○○○○の審査及び最終試験に 合格したので修士(○○)の学位を 授与する
--------------------	-------	----------------------------	---

様式第2号の2

第号	学位記	氏名	年月日生	本学大学院○○研究科○○○専攻の 博士前期課程を修了したので修士 (○○)の学位を授与する	年月日	九州産業大学長 氏名 印
----	-----	----	------	---	-----	--------------

様式第3号の1

第号	学位記	氏名	年月日生	本学大学院○○研究科○○○専攻の 博士後期課程において所定の研究 指導を受け学位論文の審査及び最終 試験に合格したので博士(○○)の 学位を授与する	年月日	九州産業大学長 氏名 印
----	-----	----	------	--	-----	--------------

様式第3号の2

第号	学位記	氏名	年月日生	本学大学院○○研究科○○○専攻の 博士後期課程において所定の単位を 修得し○○○○の審査及び最終試験に 合格したので博士(○○)の学位を 授与する	年月日	九州産業大学長 氏名 印
----	-----	----	------	---	-----	--------------

様式第3号の3

第号
学位記
氏名
年月日生
本学に学位論文を提出し所定の審査及び試験に合格したので博士(〇〇)の学位を授与する
年月日
九州産業大学長 氏名 印